

第八十一回
帝國議會
貴族院

日本證券取引所法案特別委員會議事速記録第二號

昭和十八年二月二十二日(月曜日)午後一時三十分開會

○委員長(伯耆深尾隆太郎君) 開會致シマス

○子爵秋元春朝君 私ハ參考書ニ付テ二三

申上ゲタイト思ッテ居リマス、只今頂戴シテ

居ルノハ取引所關係ノ參考書バカリダト思

イマスガ、其ノ外ノガチットモ出テ居リマセ

ヌガ、他ノ方モ御申出モアリマセウガ、私

ノ欲シイト思フモノヲ申上ゲマス、外貨債

處理法案、之ニ付テ參考書トシテ頂戴シ

タイノハ、外貨證券ノ何ト申シマスカ、分

布ノ狀態デアリマス、帝國國內ニドシテ風

ニナッテ居ルノカ、ソレカラ又外國ニアリマ

ス債券、是ハ各國別ニデモ御調ガアリマス

レバ、別ニ詳シイ金高迄ドウスウノ、又帝

國內所有者ノ姓名迄ドウスウト云フヤウナ

ソシテ詳シイコトハ要リマセヌガ、大體ノ

コトガ分ルダケノモノヲ御願ヒ致シタイト

思ヒマス、ソレカラ其ノ次ニハ特殊財産資

金特別會計法案、是ノ敵産ニ關スル參考書

トシテ、敵産管理法ト云フモノガ出テ居ッ

タコトガアリマスガ、ソレモアレバ、其ノ

法ノ寫シテリナリ一ツ御出シテ願ヒタイ

ト思ヒマス、ソレカラ敵産ト云フコトニ付

テノ色々又何カアリマスガ、一々ドシテ風

ナ何ニナッテ居リマスカ、是モ矢張り前ノ債

券同様ニ色々方々ニ散在シテ居ラウト

思ヒマスガ、之ヲ國別若クハ色々又内容

ノ個人ノ分トカ、或ハ政府ノモノトカ色々

之ニ付テ出來ルダケ、大體宜シウゴザイ

マス、詳シク小別ケラシタモノヲ戴ケルト
大イニ參考ニナルト思ヒマス、此ノ二件ダ
ケ願ヒマス

○委員長(伯耆深尾隆太郎君) ソレデハ先

ヅ日本證券取引所法案カラ御質疑ヲ願ヒマ

ス

○瀧川儀作君 本案ニ付キマシテハ衆議院

デ相當詳細ニ論議ヲサレテ居ルヤウデアリ

マスカラ重複スルコトハ避ケタイト思ヒマ

スガ、二三、當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデ

アリマスガ、政府ハ戰時立法トシテ戰時金

融金庫ノ制ヲ御設ケニナリマシテ、有價證

券ノ暴騰、暴落ヲ調節ナサシマスルコトハ

當然ノ措置トシテ御賛同ヲ申上ゲテ居ルノ

デアリマスガ、是ト同一ノコトヲ新シイ制

度ノ取引所ニ於テ經營セシムルコトハ、戰

時中ハ兎ニ角ト致シマシテ、平時ニ於テハ

新會社ノ役員ガ之ヲ濫用シテ暴騰暴落ノ種

ヲ播キヤウナ弊害ヲ生ズル虞ガナイカト云

フコトヲ憂フル者デアリマス、政府ハ暴騰

暴落ノ原因ノ責任ヲ負ッテ居ルト云フト語

弊ガアルカモ分リマセヌガ、取引所ニノミ

歸シテ居ルヤウナ風ニ答辯サレテ居ルヤウ

ニ感ゼラレルノデアリマスガ、私ノ經驗ニ

依リマス、暴騰暴落等ノ主ナル原因ハ、

政府ガ政策ノ變更ヲサレタリ、或ハ立法ノ

變更ヲサレタ場合、又ハ天變地異ノ起リマ

シタ際ニ原因ヲ發スルノデアリマシテ、勿

論斯カル場合ニハ之ヲ利用致シマシテ取引

員ノ不心得ナルモノガ賭博的ニ買占ヤリ、

或ハ投資ヲヤッテ市場ヲ攪亂スル弊害ノア

ルコトハ認メル所デアリマス、斯カル時偶

發生スル原因ヲ捕ヘテ常習犯ノ如ク世間デハ

之ヲ認メ、或ハ當局ノ説明モサウ云フ風ニ

御覽ニナッテ居ルヤウナ感ジガスルノデアリ

マスガ、ソレハ第一トシマシテ、斯ウ云フ取

引員ヲ監督スル立場ニ立タネバナラヌ證券

取引所ニ其ノ賣買ヤ金融等ノコトノ事業迄

行ハシメルコトハ、更ニヨリ以上ノ弊害ノ

原因ヲ作ルコトナルノハ必至ナリト考ヘ

ラレルノデアリマスガ、之ニ對シテ當局ノ

御意見ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス、今一

ツ取引所ト取引員トノ關係ニ付キマシテモ

同ジデ置キタイノデアリマスガ、從來世間デ

ハ取引所ヲマルデ博奕場ノ如クニ考ヘテ居

ル者ガ多ク、丁度鑛山業者ノ山師ト云フノ

ト同ジヤウナ觀念カラ來テ居ルノデヤナイ

カト思ヒマスガ、取引所ハサウ云フ所デハ

ナイノデアリマス、即チ取引員、昔ノ仲買

商ト稱シマシタ商人ガ一般顧客カラ受ケタ

ル商品ナリ、又ハ注文ヲ受ケマシタ有價證

券ヲ市場ニ於テ公賣買スルノデアリマシテ、

之ヲ取締ル所ガ取引所デアッテ、一種ノ役所

ノヤウナモノデアアルノデアリマス、政府ノ

方針ニ從ヒマシテ嚴重ニ彼等ヲ監督致シマ

シテ、亂高下ノアル場合ハ直チニ立會中止

ヲ命ズルノデアリマスガ、萬一弊害ガ

發生スルト見マシタ時ニハ、忽チ法ニ從ッテ

嚴重ニ措置シテ相當效果ヲ擧ゲテ居ルヤウ

ニ思フノデアリマス、即チ斯ウ云フ問題ノ生

ズルノハ、取引員ノ行爲デ生ズル場合モア

リマスガ、多ク此ノ原因ハ何カ政策ノ變更

デアルトカ、天變地異ノ時ニ來ルノデアリ

マスガ、一口ニ取引所、取引所ト云ッテ世

ノ中ヲ誤解サセルコトハ、少シ考ヘテ見ネ

バナラヌト思フノデアリマス、衆議院ノ速

記録ヲ見マスルト、政府ノ御答辯モ取引所、

取引所ト云フコトニナッテ居リマス爲ニ、此

ノ點ハ矢張りハッキリ區別シテ置イテ戴カ

ナケレバ、眞面目ニ經營シテ居ル取引所ノ

經營者トシテハ甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリ

マス、次ニ我が國ノ國民ノ資産デアリマス

ガ、此ノ資産ヲ大別致シマスルト、土地ト

事業會社ノ株式券ガ主ナルモノニナッテ居

ルノデアリマス、農林業者ハ多ク土地ニ投

資シ、商工業業者ハ概ネ事業會社ニ投資致シ

マシテ、其ノ額ハ何レモ千億ニ達シテ居ル

ノデアリマス、其ノ事業會社ノ投資ト申シ

マスルノハ即チ株式、或ハ社債デアリマシ

テ、近來ハ獨リ商工業業者ノミナラズ官吏モ、

軍人モ、醫者モ、學者モ皆其ノ地方ニ於

ケル有力ナル會社ノ株券トカ、社債トカ、

社債トカヲ買入マシテ、之ヲ唯一ノ資産

トシテ之ニ絕對ノ信用ヲ置キヤウニナッテ

參リマシタ爲ニ、益、商工業ガ發達スルノ

デアリマス、清算取引ヲ行フニ付キマシテ

ハ取引所ニ於キマシテハ關係業者ハ常ニ其

ノ會社ノ資産ノ内容、營業ノ狀態、經營者

タル重役ノ人格、經歷ニ至ル迄調査ヲ致シ

マシテ、サウシテ其ノ株式ヲ上場スルノデ

アリマスカラ、トテモ人爲的ニハ動カスコ

トノ出來ナイ公定相場ナノデアリマス、之

ヲ社會ニ發表スルノデアリマシテ、所謂斯

クノ如クニシテ投資家ナリ、株主ニ安心ヲ與ヘ、一面ニ於テハ金融界ニ便宜ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、是ガ即チ取引所ニ於ケル清算市場ノ使命ト申スモノデアリマス、此ノ莫大ナ事業會社ノ資産ナリ、信用ニ對シテ一種ノ保證ノ地位ニ立ッテ居ルモノガ即チ取引所ナンデアリマス、而シテ取引所ハ全國ニ十一箇所アルノデアリマスガ、私ハ取引所ノ繁華ハ何處迄モ除カネバナラスト思ヒマスガ、此ノ重要ナル機關ハ全國各都市ニ益々増設セネバナラスト考ヘテ居ル者デアリマス、過日來衆議院ニ於ケル政府ト議員トノ應答ニ依リマシテ、推定デハアリマスガ、取引所ハ或ハ東京ト大阪トミニ限ラレルノデアアルマイカ、他ノ九箇所ノ取引所ハ全部解散ヲ命ゼラレテ新會社ニ吸收合併スル如クニモ想像サレルノデアリマス、此ノ想像ニ依ッテ地方ノ營業者ハ非常ニ恐慌ヲ來シテ居ルト云フコトデアリマス、勿論速記録ニハ政府ニ於ケレマシテ二箇所ニ限ルトモ、東京、大阪以外ニ置カストモキツパリ御答ニナッテ居ラレナイノデアリマスガ、全國取引所ガ過去數十年ニ互リマシテ互ニ相携ヘ、相助ケ合フテ組合ヲ組織シ、何事モ圓滿ニヤッテ來タノデアリマスガ、此ノ法案ガ突發的ニ發表サレテ以來ハ、何故カ東京ト大阪ハ前例ヲ破ッテ一切相手ニナラス、動モスレバ勝手ニ御ヤリナサイト言ッチャウニ突放サレタ爲ニ、誠ニ組合ノ圓滑ヲ缺キマシテ、營業者ハ不安ノ状態ニアルノデアリマス、斯カル重要ナル使命ヲ持チマスル取引所デアリ、又取引員トシテモ死活問題デアリマスカラ、政府トシテハ成ルベク細心ノ注意ヲ拂ハレマシテ、凡ソ實物取引所ヲ存置セラレルヤウ

ナ地方ニハ、成ルベク多數ノ清算市場ヲ併置セシメラレムコトヲ希望申上ゲタイノデアリマス、地方ノ取引所ノ廢止ニ依リマシテ生ジテ來マス問題ノ中ニ色々アリマスガ、取引員ノ内ニハ又外交員ナル者ガアリマシテ、一都市ニ約五千位地方ノ大都市ニハ是ガ從業シテ居ルノデアリマスガ、是ガ又一家族五人位ノ人ガアルトシテ二萬内外ノ者ガアル、ソレガ九都市ニ大小ハアリマスケレドモ、人ヲ併合致シマス、相當大キナ失業者モ出來ルヤウナコトニナルノデアリマスカラ、ソシテ對策ニ付テモ何カ御考ニナッテ居ラレルカ、サウ云フコトモ併セテ伺ッテ置キタイノデス、取引員ノ數ハ二百人デアリマスカラ、其ノ二百人ノ方ノ常時取扱ッテ居ラレル債權債務ノ額ガ、凡ソ買ト賣ト二百萬位アルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレハ營業者ノ意見ヲ聞イタノデアリマスガ、取引所廢止ニ依リマシテ、之ヲ決済スル資金モ急激ニ要ル、是ハ或ル期間ニ拂フ者ハ拂フ、取ルモノハ取レナイト云フコトニナッテ、金融上ニ及ボス影響ガ大キイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事柄ニ對シマシテモ御研究ニナッテ居ラレマスカ、此ノ金額ハ相當大キナモノデ、數億ニ達スルト云フコトデアリマス、又實物取引所ノコトデアリマスガ、實物取引所ヲ存置スルト云フコトニナッテ居ル、從前ノ清算市場ヲ置イテ居リマシテ取引所ニハ、必ズ實物取引所ハ存置スルト云フ方針デアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、實物取引ト云フモノハ極ク寥々タルモノデアリマシテ、唯取引ガ出來タ時相場ダケガ發表サレルノデアリマスガ、到底實物取引ダケデハ維持ガ出來ナイノデハナイカ

ト思ヒマス、萬一政府ノ方針通り法案ガ通過スル場合ニ、サウ云フ點ニ對シテモ細心ノ考慮ヲ拂ッテ戴カナケレバ相成ラスコトニナルノデハナイカ、清算取引ノ方デアリマス、是ハ其ノ受渡ノ結果ヲ發表サレルノミナラズ、經濟界ナリ、世界ノ有ラユル方面ニ於ケル現象ガ此ノ市場ニ現レテ參リマシテ、一ツノ經濟界ノ景氣ヲ知ル「バロメーター」ニナッテ居ルノデアリマスカラ、唯東株ガ無闇ニ高イトカ安イト云フコトモアリマスケレドモ、是ハ一ツノ「バロメーター」ト見ネバナラスト思フノデアリマスカラ、清算市場ガアレバ、一般ノ有價證券ノ所有者其ノ他財界ノ方々ガ、其ノ市況ヲ見テ參考ニシテ行キマスガ、實物市場ダケデハ其ノ働キヲ爲サナイト思フノデアリマス、清算市場ガ公定相場ガ發表サレレバ、或ハ有價證券ヲ所有シテ居ラレル方ガ、假ニ處分スルコトモ、或ハ新タニ變ルコトモ出來ル、日々羅針盤ノヤウニナッテ居リマスカラ非常ニ便宜ヲ得ル、金融業者モ金融スル上ニ於テモ非常ニ便利ヲ得ラレルノデアリマス、ソレガ中央デアレバ大キナ商店ヤ銀行デハ分リマスケレドモ、地方ニ居ッテ有價證券ヲ所有シテ居ル方ナドハ、矢張り日々地方ノ大都市ニ於テ發表サレルモノヲ中心トシテ、有價證券ノ財産ノ處分ナク、運用ヲヤッテ居ルノデアリマスカラ、是ガ止ッテシマフト、マルデ火ガ消エタヤウニナッテ、盛ニ又昔ノヤウニ聞取引ガ行ハレルヤウニナリハシナイカト云フコトモ懸念セラレル、東京大阪ニ限定スル場合ハ又上場銘柄等ニ付テ限度ガアリマシテ、地方ノ株ハ上場スルコトガ出來ナイデアラウ、地方ニ於ケル有力ナ會社ハ別デアリマスガ、今日ハ餘リ

大キナ會社デナクテモ、地方ノ繁榮ヲ助ケテ居ル相當有益ナ會社モアルノデアリマスカラ、サウ云フモノノ公定相場ヲ知ルコトガ出來ナイ結果ニナリハシナイカト云フコトモ案ゼラレルノデアリマス、ソレカラ東京市ノ長期清算市場ハ一日ニ四回ト云フコトニナッテ居ルノデスガ、現在デハ一回位ヨリ立會ヲ行ッテ居リマセヌノデアリマスカラ、地方デハ殆ドモウ其ノ日ニハ公定相場ヲ知ルコトガ出來ナイト云フコトニナルコトハ明カデアリマスカラ、此ノ邊ノ對策モ考ヘテ戴カネバナラストコトト思フノデアリマス、以上甚ダ申上ゲタコトハ複雑デアリマスガ、要スル所東京大阪ニ限ッテコトデハゴザリマスマイガ、非常ナ此ノ重大ナ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、地方ノ大都市ニハ成ルベク繁榮ダケハ取縮ルコトトシテ、多ク存置シテ戴キタイト、斯ウ云フ希望ニ外ナラナイ爲ニ實際ノ事情ヲ簡單ニ申上ゲタノデアリマス、此ノ邊ニ付テノ御考ヲ伺ッテ置キマスト大變仕合セデアリマス

○國務大臣(賀屋興宣) 取引所ノ問題ヲ御考ヘ願ヒマスル根柢ノ考方ニ付テ二三申上ゲテ見タイト思ヒマス、申上ゲル迄モアリマセヌ、戰爭、殊ニ國運ヲ賭シタ大戰争ノ際ハ經濟界ハ非常ナ是ハ波瀾ガアル、避ケタイケレドモ波瀾ガアル性質ノモノデアリマス、モウ何處ノ國デモ大戰争ガ起リマシタラ取引所ナドヲ開ケテ居ル國ハナイノデアリマス、私ハ支那事變當初矢張り取引所ノ直接監督ハ致シマセヌガ、密接ナル關係ヲ持ッテ居リマシタ、大藏省ニ居リマシテ如何ニシテ取引所ヲ閉メナイデ行クカト云フコトデ當時非常ニ苦心ヲシタノデアリマス、是ハ取引所關係ノ方ノ御協力モアリマ

シテ大體目的ヲ達シタ、是ハ前ノ世界大戰ニ於テモ、今同ノ大戰ニ於テモ、北米合衆國ナドハ取引所ハ閉メテ居ル、再開シタノハ實物取引ダケデアリマス、清算取引ナドハ許シテ居ル國ハアリマセス、何處ノ國ニモナイ、米國モ清算取引デハナイ、私ハ大體戰爭中ニ於ケル取引所ト云フモノハ、其ノ位ノモノデアラウト思ヒマス、唯清算取引ヲ或程度ニヤッテ居リマス方ガ、尙閉メタル場合ニモ私ハ宜シイ、ソレデ極力之ヲ存續セシメタイト云フ意圖ノ下ニ一昨年カラ力ヲ盡シマシテ、又今回ノ法律案ヲ出シマシタノモ、其ノ意圖ガ餘程含マレテ居ルノデアリマス、尤モ政府トシテハ世界中デ取引所ニ最モ好感ヲ以テ、便宜ヲ圖テ居ル行キ方ダト云フ確信ヲ持ッテ居リマス、大戰戰爭ノ時ニハ……、左様デアリマスカラ、ドウシテモ最小限度ノ清算取引ト云フモノヲ限ル必要ガアル、ドウシテモ、戰時ニ何ガ恐ロシイカト申シマシテモ、惡性「インフレ」ガ一番恐ロシイノデアリマス、今ハ統制ヲシテ居ルカラ、惡性「インフレ」ナゾハナイト言ヒマスガ、ソナ間違ハナイト思ヒマス、統制ナゾト云フコトハ、昭和十二年カラ始リマシテ、官民共ニ不慣レデアリマスカラ、一生懸命ヤッテ居ルガ、ソレデモ至難ノ點ガアル、到ル所ニ統制ヲ破壞シテ惡性「インフレ」ニナラムトスル様相ガ、善意、惡意ヲ問ハズアリマス、其ノ中デ一番整備シテ居リマセスノハ取引所デアリマス、是ハ非常ニ危險性ガ茲ニ藏シテ居リマス、殊ニドウシテモ今年斷行シナケレバナラナイト思ヒマス原因ハ、今年ハ決戰時期デアリマシテ、普通ノ從來ノ株價ノ觀測材料カラ言ヘバ、或ハ非常ニ騰貴スル場面モアリマスガ、非常

ニ下落スル場面モ出ルノデアリマス、只今御話モアリマシタ取引所ノ良イ部面モアリマスガ、一ノモノヲ百ニモ、五十ニモスルノガ取引所ノ今ノ惡イ弊害デアリマスカラ、騰貴ガ五アレバ宜イノヲ、百騰貴スル、又逆ニ暴落スル、サウ云フコトガ相當多イノデアリマス、而モ世界ニ類ノナイ大戰戰爭ノ途上ニ於テ、之ヲ敏感ニ正確ニ反映スルト云フコトハ、人力デ出來ルモノデアリマセス、從來ノ如何ニ投機ノ經驗ノアル方デモ、世界ノ情勢其ノモノガ從來ノ經驗ヲ超越シタ大問題デアリマスカラ、是ハ正確ナ反應ハ出來ナイト思フ、ソレヲ自然ニ取引所ニ反應シテ、其ノ相場ガ公正ナリト云フ人ガアレバ、是ハ大變ナ間違ダト思ヒマス、ソレカラソレデ、有ラユル問題ガ統制ニハナッテ參リマシタガ、ソレハ統制ヲ破ル氣運ト、統制ヘノ戰デ今日迄來マシタ、ソレガ色々ノ統制上ノ摩擦、政府ノ施策ニシテモ、民間ノ機構ニシテモ、サウ云フ場面ガアリマス、統制ガ行届イテ居ルカラ、モウ惡性「インフレ」ハナイト云フ考ヘ方ハ捨テナケレバナラス、益、良イ意味ノ統制ヲ強化シマシテ之ヲ整備シテ行カケレバナラス、生産増強ト申シマスガ、經濟秩序ガ崩レマスルト生産増強ト云フヤウナコトハ到底出來ルモノデアリマセス、經濟秩序ノ維持ト云フコトガ非常ニ必要デアリマス、ソレトシマシテモ、今株式ノ部面ガ非常ニ拔ケテ居リマシテ、色々對策モ講ジテ居リマスガ、取引所ト云フモノハ大體取引ノ賣買ハ、取引員ノ自由ナ考デ相場ガ出來ル機構ニナッテ居リマシテ、今ノ取引所ハ、サウ申シテハ何デアリマスガ、相當無力デアリマス、取引員ノ方ガ有力デアリマス、サウ云フ狀況デアリマシテ、

此ノ儘ニ放置シテ置キマス、所謂換物運動ト申シマスモノハ、此ノ面カラ出テ參リマス、物ヲ買溜メ、賣惜ミスルト云フヤウナコトハ、局部的ノ小サナ問題ハアル譯デアリマスガ、大キイコトハ出來ヌト云フコトデ、結局換物運動ト云フヤウナモノガ是カラ出テ參リマス、是ハ一國ノ經濟、戰爭ヲシマスル爲ノ國債ニ對スル信用、總テノモノヲ破壞スルモノデアリマス、結局是ハ戰爭ヲ敗北ニ終ラシムル禍因ガ茲ニ出テ來ル傾向ガアリマス、「ドイツ」ナドモ、一昨年ノ暮アタリ非常ニ急進的ナ方法ヲ執リマシタ、株ノ相場ナドハナイ時勢ニナッテ參リマシテ、釘付ケニナッテシマッタ、是ハ矢張り株價ノ暴騰スル虞ガアリマシテ、恐ラク已ムラ得ズ「ドイツ」ガ執ツ措置ダラウト思ヒマス、私ナドハ寧ロソコ迄行カヌヤウニシタイ、ソレデ清算取引ノ長所モ活カシテ行キタイ、斯ウ考ヘマシテ、寧ロ色々ソコデ工夫ヲ凝ラシテ行キタイト思ヒマシテ、寧ロア、云フ狀態ニナラスヤウニシタイ、ソレハ非常ニ一方カラ云フト制限的ニシマシテ、其ノ範圍デ活カスコトガ寧ロ清算取引ヲ活カス、之ヲ少シ自由ニヤリマシタナラバ、相當取引所ナドハ全部禁止スルト云フ場面ニ恐ラク十中九分九厘迄ナルト思ヒマス、寧ロサウ行カヌヤウニシタイ、斯ウ考ヘル、從ヒマシテ清算取引ガ非常ニ十分ニ出來ル所カラ見マス、相當不便モ何モアリマセウガ、是ハ私ハ大局論トシテドウシテモサウ云フ立場ヲ執ッテ行カケレバナラス、サウ云フ觀點カラシマシテ、現下ノ情勢ニ於キマシテハ、清算取引所ハ東京、大阪、二箇所ニ限ル積リ居リマス、ソレデ尙從來ノ取引所ノ相場ニ反映シマス

ナラバ、考ヘ方ガ今ノ戰時經濟ニ應用スベカラザル面ヲ一應申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、是ハ私ハ一ツノ行キ方デ、平時ハ所謂經濟ト云フモノハ觀測經濟デアリマス、世界ノ景氣ガドウナル、一番日本ニ關係ガ多イ「アメリカ」ノ景氣ガ好クナル、「ユー・エス・ス・ティール」ノ株ガ上レバ生絲ガ高ク賣レルダラウ、サウスルト國內ニ金ガ廻ル、景氣ガ好クナルト云フ風ナ考ヘ方、ソレニ類シタヤウナ詰リ世界ノ景氣、日本ニ關係アル世界ノ景氣及ビ日本ノ狀態ヲ觀測シマシテ、各自損ヲシナイヤウニ、餘計儲ケルヤウニ、相場モサウデアリマスシ、企業モサウデアアルシ、商賣モサウデアアル、今ハ斷ジテサウ云フコトハ許サレナイ狀態デアアル、今ハ戰爭ニ勝テ拔ク爲ノ必要ナ經濟現象ヲ國民ノ努力ニ依ッテ、政府ノ施策ニ依ッテ作り上ゲナケレバナラス、欲スル經濟狀態ニ持ッテ行カケレバナラス、私ハ是ハ一ツノ努力經濟ト申サバ申シテモ宜シイト思フ、ソレデアリマスカラ株ノ觀點ヲ從來通りノ觀點デ相場ヲ動カスコトハ非常ナ弊害ガアルノデアリマス、政策ノ轉換ガアリマシテハ、是ハ如何ニ評價スル、是ハ今デモアリマスガ、政府ガ軍需工業ヲ獎勵スルト上ルダラウ、是ハ間違ッテ居ル、適正ナ利益ヲ與ヘルノガ趣旨デアリマシテ、寧ロ軍需工業ニ利益ガ上ル、高配當ヲスルナドト云フコトハ、政府ノ失敗カ、當業者ノ自肅ガ足ラヌカ、サウ云フ考ヘ方ハ今デモ株ノ部面ニ反映スル、サウ云フ狀態ヲ、從來ノヤウニ放置ハ出來マセス、ソレハ其處ニ不測ノ禍ヲ生ズル、ソレ等ノ觀點カラ言ヒマシテ、ドウシテモ株價ノ暴騰暴落ト云フコトニ餘程注意シテ參ラナケレバナリ

マセス、總テ取引所法及ビ以外ノ施策ニ依ツテ常ニ株價ノ暴騰、暴落ヲ防イデ、安心シテ戰爭ニ必要ナ事業ノ方ニ投資シテ行ク、斯ウ云フコトガ極メテ大切デアリマス、總テノ觀點ハ行過ギラ防グ、サウカト申シマシテ株價ヲ利附證券ノヤウニ釘付ケニスルコト云フコトハ實情ニ適シマセヌカラ、サウナラナイヤウニ持ツテ行キタイ、斯ウ云フコトデゴザイマス、從ヒマシテ第二十二條ニ於ケル賣買ノ如キモノモ全體ノ仕組ガ觸レテ行クノデアリマスカラ、之ニ依ツテ暴騰暴落ヲ致サウナコトガアツテハナリマセヌシ、又全體ノ仕組デサウナラヌヤウニ出來ルト思ヒマス、現ニ戰時金融庫ノ働キモ數回ノ働キデアリマスルガ、相當ナソレニ依ツテ貢獻ヲ致シテ居ル點モアルヤウニ存ジテ居リマス、何故戰時金融庫以外ニ斯ウ云フ方法ヲ執ルカト申シマスレバ、戰時金融庫ノ只今ノ方法デ普通ノ場合ハ宜シイノデアリマスガ、急速ヲ要シマス場合ニハドウモアレデハ不適當ナ狀態デアリマス、從ツテ一方之ヲ認メマスルト同時ニ、是ハ理事者ノ單獨ノ意思ニ非ズシテ、政府ノ必要ト認メタ場合ニ發動セシムルヤウニ致シテ居リマス、他面ハ取引所ガ自ラ賣買ニ出ルノハ甚ダ工合ガ惡イ、是モ頗ル御尤ナ御考デアリマスガ、一般ニサウ云フ御説モアリマスガ、全體ノ法律案ヲ御通覽下サイマス、取引所自體ト云フモノガ嚴重ナ法規ノ下ニ政府ノ監督ノ下ニアリマシテ、自ラノ考ニ依ツテ相場ヲドウシテ行カウト云フ、ソレデ平タク申シマシテ、儲ケルトカ、人ニ損ヲサセルト云フヤウナコトガ出來ナイ性格ニナツテ居リマシテ、取引所自體ノ利益ニ致シマシテモ、配當ノ保證及配當ノ制

限、配當ノ給付金等アリマシテ、全ク自ラ大イニ儲ケタ所デ、先ヅ平タク申シマシテ何ニモナラナイト云フヤウナ譯デアリマスカラ、直ニ新シイ法律ノ組織ノ下ニ於テ、所謂外ノ賣買者ト利益ヲ爭フナドト云フ途ハ毛頭ナイ譯デアリマスノデ、始メテ斯ウ云フ機構ノ下ニ是ハ許サレ得ル、ソレダケノコトヲ一方考ヘマシテ置キマシタ次第デアリマス、ソレカラ取引所ガ必ズシモ惡クナイト、是ハ御説ノ通りデアリマス、私共モ世間デ清算取引ト云フモノハ非常ニ弊害ガアルト云フコトヲ見マシテ、弊害ヲ認メテ居リマスガ、長所モアリマスノデ、今申上ゲタ、殆ド類似ノナイ狀態ニモ拘ラズ、大イニ工夫ヲ凝シ、之ヲ存置セシメテ、長所ヲ發揮シタイト思ツテ居リマス、併シ弊害ガアルノモ亦事實デアリマシテ、前申上ゲマシタヤウニ、相場ガ必ズシモ相場ノ變動ノ原因タルモノヲ正確ニ反映シナイ、是ガ前申シマシタヤウニ、今ノ時代トシテハ昔流ノ、國內ガ自由經濟、國際間モ自由經濟、サウ云フヤウナ環境ガ全部今違ツテ居リマス所ニ、相變ラズ昔流ノ觀測ガマダ殘ツテ居ルト云フヤウナ、此ノ善意、惡意ヲ離レマシタ觀測ニ付テノ違ヒモアラウカト思ヒマスガ、ソレ以外ニ、是ハ能ク御承知ノ通りニ、相當所謂仕事關係ナドデ、自然ニ反シタ強引ノ相場ヲ拵ヘテ、ソレデ儲ケル場合ニハ儲ケルト、是ハ全體ノ其ノ會社ノ當然知リ得ベキ經濟力其ノ他デナク、所謂相場ノ資金關係、賣買關係カラ見マシテ、此ノ相場ハ斯ウヤツデ張レバ押通セル、賣デモ買デモ、其ノ點デ強引ナ相場ヲ作ラウト、是ハ今デモアルノデアリマシテ、ナカノ此ノ弊害ガ多イト云フコトモ事實

デアリマス、唯前申上ゲマシタヤウニ、其ノ弊害ノ原因ハ成ルベク匡正シテ、長所ヲ活カシタイト考ヘマスノデ、色々工夫モ致サウナ次第デアリマス、尙今御話ガアリマシタヤウニ、有價證券ガ國民ノ資産トシテ重要ナモノデアリマス、是ハ私ハ今後益々増加シテ、所謂生産擴充資金、是ハ大體株ノ國債ニ相成リマスガ、ソレハ日本ガ此ノ戰爭ニ勝ツ爲ニモ、國內及共榮圈內ノ生産力、經濟ノ發達致シマス爲ニハ増加セザルヲ得ナイ、寧ろ是ガ増加シナイヤウデハ戰爭ニハ勝テナイ位ノモノト考ヘテ居リマシテ、非常ニ之ヲ重視致シテ居ルノデアリマス、從ツテ今ノヤウニ證券市場ノ機能ト云フモノヲ私共モ重視致シテ居ルノデアリマスガ、右申上ゲマシタヤウニ、相當弊害モ多イノデアリマス、併シソレナラバ又地方取引所ハ獨自ノ相場ヲ建テ得ルカト云フト、有力ナ東京、大阪ナドガアリマスト、外ノ方デハナカノ獨自ノ相場ガ建チニクイ、建ツデモ翌日ニ直グ訂正サレルト云フコトデアリマス、一方カラ言フト其ノ必要性ガ全然ナイトハ言ヘナイガ、必要性ガ薄イ狀態デアリマス、弊害モアリ得ル、東京、大阪ガ最モ弊害ガ多イト云フコトハアリマス、是ハドウシテモ大量取引デナケレバ目的ヲ達シマセヌ、之ヲ潰セバ清算取引ヲ潰スト云フコトニナル、活カス以上ハ非常ニ大キナモノヲ活カス外ハナイト云フ、是等ノ監督モ非常ニ大キナ力ガ要ル、殊ニ戰時トシテハ人員ノ手不足、其ノ他各方面企業ノ戰時的整理、詰リ戰時トシテハ必要ガナイトハ申サレマセヌガ、必要ヲ忍ビ得ルモノハ有ラユル企業ヲ整理シテ、其ノ努力ナリ、總テノモノヲ戰時ニヨリ緊

切ナルモノニ轉換集中セシメル必要ガアリマスノデ、現在ハ取引所ノ從業員ノ者ハ、取引所ノ立場カラハ必要デアリマスガ、優先シテ其處ニ人ノ配當ヲ致シニクイ狀態ニモアリマス譯デアリマス、從ヒマシテ此ノ地方取引所ナドデ寧ろ人ガ餘リマシタナラバ、其ノ從業員ニ付キマシテハ之ヲ他ニ轉ズル工夫ヲシナケレバナラス、若干其ノ用意ハ致シテ居ル譯デアリマス、御話ノヤウニ當分ノ間ハ地方取引所ガ清算取引ヲ廢メマスレバ、實物市場ノミトシテ殘リマスレバ、相當其處ノ取引所其ノ他、從ツテ人手ヲ要スルコトモ減ルカト存ジマス、併シ私ハ將來ハ今申シマシタヤウニ、日本ノ有價證券ト云フモノハ非常ナル急速度ノ増加ヲスル、不動産ハ増加スルコトガ少イノデアリマスカラ、殆ド將來ノ日本人ト云フモノハ國債、株券、有價證券ト云フモノヲ其ノ財産ニスル、ソコ迄行カナケレバ東亞共榮圈モ完成シマセヌシ、結局戰爭ニ勝テナイト云フコトデアリマスノデ、必ズ増加スルト思ツテ居リマス、ソレデ實物市場ノ如キモノハ寧ろ現在ヨリモ殖サナケレバナラスノデヤナイカト存ジマス、差向ハソレデ大體、現在取引所ガアリマス所ハ實物市場ハ存置スルト云フ考ヘ方ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレデ若シ假ニ失業者等ガ出マシタナラバ、是ハ時局下最モ必要ナル方面ニ之ヲ轉ズル方向ニ進メタイト斯様ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス、地方取引所ノ清算ヲ廢メマスコトニ付キマシテハ、局部的ニ見マスレバ、相當御不便ヤ色々ナコトガアルカト存ジマスガ、現下ニ於キマシテハ、大局上已ムヲ得ヌコトニ考ヘテ居リマス、唯其ノコトハ別ニ現在地方

ニアリマス取引所が廢止スルニ非ズシテ、皆新會社ニナル、其ノ關係ニ於キマシテハ、此ノ取引所ノ清算市場ガナクナルカラ、其ノ新シイ出資ノ割當等ニ於テ之ヲ重視シナイトカスルトカ云フ觀點ハ、是ハ毫モ交ヘズニ行クベキモノデアルト存ジマス、寧ロ全體ガ集ッテ新シイ一ツノモノニナル、一ツノモノヲドウナルカト云フコトハ、現在ノ事態ニ即スル組織ニシテ行キタイト云フノデアリマスカラ、地方取引所ハ清算市場ガナクナリマスルノデ、今ノ取引所ノ値打ガソレダケ下ルト云フヤウナ考ヘ方ハ無論交ヘナイデ出資ノ割當等ハ行ヒタイト思ッテ居ル次第デアリマス、尙御答漏レノ所ガゴザイマシトラ、政府委員カラ申上ゲルコトニサシタイト思ヒマス

○瀧澤儀作君 當局ノ意圖ノアル所ハ能ク分リマシタ、私共今何等ノ關係ハナイノデアリマスカ、多年商業會議所、或ハ取引所ニモ長イ間關係ヲ致シマシテ、多少ノ經驗ヲ持ッテ居ル爲ニ、營業者カラ色々陳情等モアリマシタガ、戰爭ヲ勝チ抜ケ爲ニハ、如何ナル戰時立法デモ、少々無理デモ政府ニ「フォロー」シテ行カナケレバナラナイト云フノガ、私ハ陳情ヲ數回ニ來マシタノハ皆撥ネ附ケマシタ、撥ネ附ケタノデアリマスカ、此ノ問題ヲ簡單ニ考ヘル譯デアリマセヌガ、戰時金融金庫ノ利用ニ依ッテ戰爭中ハ十分ノ目的ガ達シ得ラレルノデハナイカ、一面ニ此ノ取引所ト云フモノハ自由經濟制度ノ中ニ發達シテ來タモノデアリマスカラ、統制經濟ノ必要ナ時ニハ殆ド不必要モノデアルト云フコトハ理論的ニハ分ル、實際的ニモ又働ク餘地ガナイノデアリマスカラ、斯ウ云フ舊體制ヲ殘シテ置イテ、彼等ヲ救ヒタイト云ッ

タヤウナ淺薄ナ考カラ出タノデヤアリマセヌ、近來戰時立法トシテ澤山ナ、或ハ商工立法、或ハ農林省令等澤山出マシタガ、是モ殘ラズ苦痛ヲ忍ビマシテ「フォロー」ラスルト云フコトニ只今建前ヲ取ッテ居リマスカ、不必要ニ統制ヲヤリマシテ、生活ノ壓迫ヲ蒙ッテ居ルモノモ多數アリマス、忍ベルモノハ宜シイトシマシテモ、不必要ナモノハ政府モ幾ラカ御考ニナッテ、後廻シニシテ能ク考ヘテヤルト云フダケノ用意ヲ持ッテ居リマスノデ、甚ダ禮ヲ失スルカモ知レマセヌガ、或ハモウ少シ是ハ御延バシニナッタ方ガ宜イノデヤナイカト云フ、折角出タ立法デ趣意ノアル所ハ能ク分ッテ居リマス、殊ニ又色々御考ニナッタ結果、實物市場ダケデモ殘サウト云フ所ニ親心ガアッテ、多年ノ間努力シ來ッタモノノ立場ヲ尊重サレルモノダト云フコトモ私ハ了解シテ居リマスカ、戰時中ハ如何ナル犧牲ヲモ忍ブト云フコトニ付テハ、全然同感デアリマス、モウ少シ御研究下サル餘地ガアルヤウニモ考ヘマスノデ、今一舉ニヤラナケレバナラヌ程ノ必要ハナイ場面モ一ツ御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、マダ伺ヒタイコトハ澤山アリマスカレドモ、外ニモ御質問ガアルカモ分リマセヌカラ、私ハ是デ一時質問ヲ差控ヘマスガ、立場ダケヲ申上ゲテ置キマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 大體論ニ付キマシテ御質問ナリ御意見ガアリマスレバドウゾ……

○岩田宙造君 二、三伺ヒタイノデアリマスカ、先刻御説明デモチヨット御觸レニナッテ居ッタヤウデアリマスルガ、ハッキリシマセヌノデ伺ッテ置キタイノデアリマス、今度

ノ取引所ハ此ノ二十二條デ亂高下ノアリマシタ場合ニ政府ガ命令シテ、ソレニ賣向ヒ、買向ヒヲサレマスル外ニ、取引所自身ガ自由ナ考デ、取引所デ現物賣買ナリ、或ハ清算賣買ノ委託ヲスルト云フコトハ出來ルノデアリマセウカ、ソレハ二十二條ノ場合ノ外ハ絶對ニ出來ナイ趣旨デ出來テ居ルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 二十二條ノ場合ニノミ限定致シマシテ、外ノ場合ニハ出來ナイノデアリマス

○岩田宙造君 此ノ二十一條デアリマシタカ、今度ノ取引所ノ業務、此ノ第一項ノ二號ニ依リマシテ今度ハ有價證券ノ賣買デアルトカ、或ハ新ニ發行セラレル場合ノ引受等ハ此ノ取引所自身ガ出來ルコトニナッテ居ルノデアリマスカ、從ッテ多數多量ノ有價證券ヲ存シテ居ルヤウナ結果ガ想像サレルノデアリマスカ、サウ云フ場合ニ折角此ノ有價證券ノ圓滑ナル流通ヲ目的トシタ市場ガアルニ拘ラス、ソコデ出來ナイト云フコトハ非常ニ困ルノデヤナイカト思ヒマスガ、ソレハ差支ナイ御考デアリマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ二十一條ノ二號ノ場合ハ買ッテ長ク持ッテ居ルト云フヤウナ場合ハ餘リ想像致シマセヌ、大體ノ會社ノ新設ノ増資ノヤウナ場合ニ處置スルコトヲ主トシテ居リマスルカラ、是ハモウ買手ヲ必ズ見付ケテ賣ルト云フヤウナ方法ニ行キタイト思ッテ居リマス、大體ハソレデ出來得ルコトト考ヘテ居リマス

○岩田宙造君 大體サウ云フ御見込ダト致シマシテモ、例ヘバ株式發行ノ引受ヲシタヤウナ場合ニ、思フヤウニ應募ガ出來ナイ

ト云フノデ、自分ノ手持ノ株モ相當出來テ來ルト云フコトモ想像サレルノデアリマスカ、サウ云フ場合ハ起ラヌノデアリマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 今御話ノヤウナ場合ニ、或ハ出來タラ便宜ノ場合ガアルカモ知レマセヌガ、マア強ヒテソレヲ考ヘレバ實物市場ノ場合デゴザイマスカ、サウ致シマセヌデモ、矢張り此ノ消化ガ出來ル方ニ向キ得ルト同時ニ、取引所ガ市場ニ出マスト云フコトハ、ドウシテモ是ハ例外的ノコトニ考ヘナケレバナラヌノデアリマスカラ、出ナクテモ大體ノ空氣ハ察シ得ル、又サウシテ置ク方ガ建前トシテ宜シイト考ヘテ居リマス、餘リ先キノコト迄申上ゲテ何デゴザイマスカ、世ノ中ハ理窟バカリデハ參リマセヌ、デ二十二條ノ規定ノ如キモノハ、是ハ全體ノ今度ノ取引所ノ構成カラ言ヘバ問題デハナイノデアリマスカ、一應新シク之ヲ起シマシタ人々ノ考デハ、ドウモ取引所自身ガ賣買ニ出ルノハドウカト考ヘルノモ亦無理カラヌコトト思フノデアリマス、是ハドウシテモ制限的ニヤッテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○政府委員(田中豐君) 今ノ御答ニ補足サシテ戴キタイノデアリマスカ、取引所ガ引受若クハ買入レマシタ株ト云フモノガ市場ニ出ナイノハ不便ダト云フ御尋ハ御尤モデアリマスカ、是ハ主トシテ取引員ヲ使ヒマシテ分配致サセマス、デ取引員ガ相當數量持チマシテ、取引員ガ市場ニ於テ賣買スルト云フコトハ事實ナノデゴザイマス、デ取引員ヲ通ジテ市場ニ賣買スルト云フ方法ハ殘ッテ居ル譯デアリマス

○岩田宙造君 サウスルト取引所自身ガ直

接ニ市場で賣買スルコトノ出来ナイノハ、是ハサウダラウト思フノデアリマスガ、私ガ今御尋ネシマシタノハ、無論此ノ取引員ヲ使用シテノ積リナノデアリマス、取引員ヲ使用シテデモ出来ルカ出来ナイカト云フ點ガ疑問デアッタノデアリマス

○政府委員(田中豐君) 取引員ニ割ッテ賣渡シマシテ、サウシテ取引員ガ實質上市場ヲ利用スルコト云フ意味デアリマシテ、取引所自體ハ取引員ニ委託シテモ出来ナイ、斯ウ云フコトデゴザイマス

○岩田宙造君 今一應趣旨ダケヲ伺ヒマスガ、只今私が伺ヒマシタノハ、マア實際サウ云フ必要デ困リハシナイカト云フ方面カラ伺ッタルデアリマスガ、今一ツ今度ハ觀方ヲ變ヘマシテ、唯此ノ法文ノ解釋カラ致シマシテ、今度ノ取引所ハ只今御説明ノ通りニ、有價證券株式ノ引受等モ出来ルシ、賣買ガ出来ルト云フ建前ニテ居ルノデアリマスカラ、特ニソレガ禁ジテナカッタラバ、當然ノ解釋トシテ取引員ヲ使ッテ市場で賣買ヲスルト云フコトハ出来ルト云フコトニ、此ノ法ノ解釋カラ言ヘバナルノデハナイノデアリマウセカ

○政府委員(田中豐君) 二十二條ニ特ニ第二十七條第一項ノ規定ニ拘ラズニ云々ト謳ヒマシテ、二十七條第一項ハ取引所ニ於ケル取引ハ取引員デナケレバ出来ナイト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマスガ、斯ウ云フコトヲ謳ヒマシテ、取引所ハ賣買取引ヲ行フ場合ニ限ッテ爲シ得ルト云フコトヲ明カニ致シテ居リマス、又一方取引員ニ對シテ委託ヲシテ賣買スルコト云フコトニ付キマシテハ、法文上禁止ノ規定ハゴザイマセヌ、從來取引所ノ方ノ解釋ニ於キマシテモ、明

文デハ規定サレテ居リマセヌガ、自ラ取引ハ爲シ得ナイ、斯ウ云フ風ニ解釋サレテ居リマシテ、今回新ニ二十二條ニ於キマシテ斯ウ云フ場合ニ限ッテノ賣買取引ヲ爲シ、又委託ヲ爲シ得ルト云フコトノ制限ヲ此ノ範圍ニ於テ解除シタイ、斯様ニ解釋致シテ居ルノデアリマス

○岩田宙造君 此ノ二十二條ハ政府ガ取引所ニ命令スルコトガ出来ルト云フ規定デアリマスルカラ、是ハ二十二條ガナケレバ命令ガ出来ナイノハ當然デアリマスルガ、命令ヲスルコトガ出来ルト云フ規定ガアルカラト云フ、其ノ半面カラ命令ガナケレバ出来ナイト云フ結論ハ出て来ナイノデハナイカト云フデアリマス、現行ノ取引所ノ方ノ關係カラ申シマスルト、是ハ一體市場ヲ設ケルダケノモノデアッテ、有價證券ノ賣買ト云フヤウナコトハ、是ハ單ニ自己ノ財産トシテ持つ場合ハ格別デアリマスルケレドモ、取引所ノ目的トシテ賣買ヲスルコト云フコトハナイノデアリマスルカラ、只今ノヤウナ解釋ヲスル餘地ガアルカト考ヘマスガ、今後ハ取引所ハ有價證券ノ賣買ト云フコトガ明文デ立派ニ取引所ノ業務ノ目的トナッテ居リマシテ、サウシテ一方ニ於テハ有價證券ノ圓滑ナル流通ヲ圖ル爲ノ市場ダト云フ規定ガアリマスルコト、兩方ヲ對照シテ禁止ガナケレバ其ノ市場ヲ利用スルコト云フコトガ出来ルト云フ解釋ガ寧ロ當然デヤナイカト云フデアリマスガ、如何デゴザイマスカ、今ノ此ノ發案ヲ爲サレマシタ當局ノ方ガオイデニナリマスル間ハ、實際問題トシテハ今度ノ總裁以下役員ハ皆政府ノ任命デアリマスカラ、サウ云フ解釋ノ下ニ事實ハ行ハレナイコトニナルカト思ヒマスケレド

モ、或ハ當局ノ御方ガ御送りニナリマシタリ、先ニナリマスル肝腎ナ法文ノ解釋トシテハソレハ差支ナイト云フヤウナ寧ロ解釋ノ方ガ強クナルノデヤナイカト思ヒマスガ、ドウ云フ……

○政府委員(田中豐君) 御話ノヤウニ第二十一條第二號ニ新シク取引所ハ有價證券ノ引受ケ、買入レ等ノ賣買ヲ爲スコトガ出来ルヤウニナッタカラ、從來ノ解釋ト違ハナイカト云フ御疑問ノ餘地モアルト云フデアリマスガ、御話ノ中ニモアリマシタヤウニ、從來取引所ハ資産トシテ相當多額ノ有價證券ヲ持ッテ居リマス、之ノ賣買其ノ他モ業務トシテ新シク法文ニ明記致サレテ居リマセヌガ、相當多額ノ有價證券ヲ持ッテ居タルケレドモ、是ハ市場ニ於テ賣買出来ナイモノト解釋サレテ居タルデアリマス、尙法文ノ十九條ニ「日本證券取引所ノ總裁、副總裁、理事、監事及用人」斯ウ云フモノノ取引ヲモ禁止致シテ居リマス、是ハ個人的關係デハアリマスガ、斯ウ云フ精神カラ見マシテ取引所自體ガ自ラ市場ニ於テ賣買出来ナイト云フヤウナ解釋モ相當助ケ得ルノデヤナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○岩田宙造君 寧ロ其ノ十九條等カラ見マシテ、サウ云フ點カラ見マシテモ、其ノ個人ニ付テ禁止ガアル位デアリマスルカラ、有價證券ノ賣買ノ許サレテ居ル取引所自身トシテハ尙更禁止ノ明文ガナケレバ出来ルト云フ方ノ解釋ノ助ケニナルト思ヒマスカラ、十九條ノ理由ニシテ出来ナイト云フコトニハナラスノデハナイカト思ヒマス、尤モ後ハ議論ニナリマスカラ其ノ程度迄其ノ點ニ付キマシテハ御趣旨ヲ伺ッテ置ケバ宜シウゴザイマスガ、他ノ點ニ付テ一ツ御伺ヒ致シ

タイト思ヒマス、取引員ノ資格ノ點デアリマスガ、是ハ今後株式會社ニ制限サレタリ由ハドウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(田中豐君) 從來取引員タル資格ハ個人ト法人共ニ認メテ居ッタル譯デアリマス、處デ取引員ハ申上ゲル迄モナク澤山ノ客カラ委託ヲ受ケマシテ、相當ノ金錢並ニ有價證券等ヲ預ッテ委託ノ趣旨ヲ實行致ス譯デアリマシテ、資産信用等ヲ勿論相當重シナケレバナラスシ、又取引所制度ノ中ニ於ケル最重要ナル要素トシテノ使命ハ非常ニ重イ譯デアリマシテ、斯様ナ使命カラ鑑ミマシテ、取引員ノ資質ノ向上ト云フコトガ、今回ノ改正ノ一ツノ大キナ眼目ニ相成ッテ居ル譯デアリマシテ、斯様ナ點カラ考ヘマス、會社組織ニ依リマシテ、殊ニ株式會社組織ニ依リマシテ、個人ト其ノ個人ノ財産ト全ク別個ノ經理ヲシテ貴ヒ、又株式會社組織ニ依リマス經理ノ適正或ハ永續性ト云ツクヤウナコトガ監督ノ面カラ見マシテモ、或ハ委託者ノ保護ノ面カラ云ヒマシテモ最モ適當デアルト考ヘマシテ、一定金額以上ノ資本金ヲ有スル株式會社ニ限ルト云フコトニ改正致シタイト存ジタ次第デアリマス

○岩田宙造君 取引員ノ資質ノ向上ヲ圖ルト云フ點カラ言ヒマスルコト、寧ロ個人ニシテ其ノ人ノ人格ヲ見ル方ガ其ノ目的ニハ適フノデアリカト考ヘルノデアリマスガ、株式會社ニシテモ、今度ノ案ニシテモ、特ニ其ノ取締役デアルトカ、或ハ監査役ニ付テ不適當ナ人ガ居ル場合ニハ、其ノ會社ハ取引員タル資格ヲ失フコトニハナッテ居リマスケレドモ、是ハ積極的ニ特ニ惡イ人間ガ入ッタ場合ヲ謂フノデアッテ、立派ナ人デナ

ケレバイカヌト云フコトニハナッテ居ラス
ノデアリマスガ、ドウシテモ立派ナ人ニス
ルト云フニハ個人ヲ見ナケレバイケナイノ
デアッテ、會社ニナリマス、サウ云フ積極的
ノ缺點ノナイ以上ハ世間デ餘リ尊敬ヲ受ケ
ナイヤウナ人デモ、ドウモアノ人間ハ評判
ガ惡イカラト言ッテ其ノ取引員ノ資格ヲ失
ハス譯ニハイカナイノデアリマスカラ、寧
ロサウ云フ資質ノ向上ヲ圖ルト云フ點カラ
言ヘバ、會社デハイケナイノデアッテ、法人
デハイケナイノデアッテ寧ロ個人ニ重キヲ
置カナケレバイケナイノデアル、現在ノ法
人モアリマセウガ、是ハ私共能ク承知シマ
セヌガ、現在ハ會社デアッテモ寧ロ個人的ノ
會社、唯組織ダケガ個人ニナッテ居ルノデ
アッテ、矢張り中心人物トシテハ個人ガ主
ニナッテ居ルト云フノガ大多數デハナイカ、
サウ云フ意味デアリマスルナラバ、個人ヲ
見テ許スト云フコトデ假ニ資産ハ少クテモ人
ガ立派デアレバ、其ノ取引員ノ資質ハ向上
スルト云フ風ニ考ヘラレルノデハナイカト
思フノデアリマス、ソレガ一點トソレカラ
今一ツ資産ノ點ニ重キヲ置イテ監督上便利
ダト云フ點ハ是ハ御説明ノ通りト思フノデ
アリマスガ、併シ其ノ點カラ申シマスナラ
バ、何ニモ株式會社ニ限ル必要ハナイノデ
アリマシテ、有限會社デアリマシテモ、合
資會社デモ、合名會社デアッテモチャント
資産ダケハ別ニナルノデアリマスカラ、資
産ヲ監督スルコトニ重キヲ置イテ見ルト云
フナラバ法人デナケレバナラスト云フ理由
ニハナリマスガ、特ニ株式會社ニ限定スル
ト云フ理由ハ出デ來ナイヂヤナイカト思ハ
レルノデアリマスガ、是ハドウデゴザイマ
セウ

○國務大臣(賀屋興宣君) 前段ノ問題ニ御答へ申上ゲマスガ、實際問題トシテ今ノ取引員ノ資質ヲ向上シヨウト云フ時ニ、所謂人ガ、個人ガ立派デアルカナイカト云フ問題ニナリマスト、ナカ／＼是ハ困難デアリマシテ、或人ヲ認メテ或人ヲ認メナイト云フコトハ非常ナ其處ニ困難ナ點ガ出テ來マス、宜イ人ヲ見ルト云フ點デハ御話ノ通りデアリマスガ、今段々ニ取引員ヲ良クシテ行カウト云フ上カラ申シマスト、個人ヲ許シテ其ノ間デ鑑別シテ行クト云フコトハ相當實際問題トシテハ行ヒニクイト思ヒマス、ソレカラ長イ間ニ於キマシテモナカ／＼其ノ困難ガアリマサルシ、尙且今御述ニナリマシタヤウニ、又政府委員モ申上ゲマシタヤウニ、資産ノ監督、經理ノ監督ガ出來ルノガ、色々今後實際問題ノ證據金ノ問題、是ハ小口落トカ色々ノ問題ニ付テモ正確ニ資産ノ監督ガ出來ルト云フコトガ非常ナ要件デアラウト思ヒマス、ソレ等ヲ考ヘマシテ結局個人的ニヤルノニモ長所ハアリマスガ、是ハ運用如何ニ依ッテ危險ガ伴ヒマスノデ、斯ウ云フ客觀的物的ナモノニ相當重キヲ置イタ次第デアリマス、ソレカラ後ノ御尋ハ御尤ト思ヒマスガ、事實ハ今法人ニスレバソレハ皆株式會社ニナルコトト存ジマスノデ、是デ差支ハ起ラスト思ヒマシテ、株式會社ニ致シマシタ次第デアリマス

○岩田宙造君 此ノ御説ノ通りニ株式會社ト之ニ類似シタ有限會社ト云フノガアリマシテ、有限會社ハ株主ノ少イ場合ニ株式會社ノヤウナ色々ナ手數ノ掛ラナイ輕便ナ會社ヲ作ル目的デ出テ來テ居ルノデアリマスルカラ、斯ウ云フ取引員ノヤウナ場合ニハ、株式會社ヨリモ寧ロ有限會社ノ方ガ適當デ

アルノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレヲ報告ナリ、其ノ他色々ナ手數、費用ノ掛ル株式會社ニ限ラレルト云フノハ不便デハナイカト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(田中豐若) 御話ノヤウニ有限會社組織ト云フコトモ考ヘ得ルコトダト思フノデアリマスガ、サウ云フ相當大キナ資本金額ヲ以テ、マア現狀ト致シマス、直チニ個人ト法人トノ合ノ子ノヤウニ豫想サレルノデアリマスガ、將來ハ取引員ノ數モ段々整理致シマシテ、相當少數ノ取引員ガ大キナ規模ニ於テ仕事ヲシテ行クト云フヤウナコトモ豫想セラレルノデアリマシテ、サウ云ツタ觀點カラ見マシテ百萬圓以上ト云フヤウナ資本金デアリマスノデ、株式會社ノ方ガ適當デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、現在取引員ニシテ會社組織、法人組織ニナツテ居リマスモノモ、大部分株式會社組織ノモノガ多イト存ジテ居ル次第デアリマス、左様ナ趣旨デ株式會社ト致シタ次第デアリマス

○岩田宙造君 マダアリマスケレドモ、只今ハ此ノ程度デ……

○奥主一郎君 モウ既ニ大體ニ言ヒ盡サレテ居ルノデアリマスガ、又一方私理事者ト云フ地位ノ上カラ質問ヲスルノハ甚ダ心苦シイノデアリマスガ、唯此ノ法案ノ運営上ノ點ニ付キマシテ具體的ニ二三御尋ネ致シタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ此ノ法案ヲ通覽シテ見マスルニ、主務大臣ノ認可ヲ受ケル云々、詰リ認可事項ガ條文ノ中ニ非常ニ多イノデアリマシテ、而モ一方評議員會ト云フ制度ガ設ケデアリマシテ、且又大藏大臣ノ諮問機關トシテ有價證券取引委員會、

斯ウ云モノガ設ケテアリマス、非常ニ認可事項ガ多ク、且又組織ガ複雑ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ事務ノ敏活ヲ期スルコトガ最も大事デアリマス取引所ニ於キマシテ、總裁ガ敏活ニ仕事ヲヤルノニ非常ニ支障ヲ來シハシナイカ、斯ウ云フコトヲ先ヅ懸念致スノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテドウ云フヤウニ御考ニナツテ居リマスカ

○政府委員(田中豐若) 御話ノ如ク今回ノ改正法案ニ於キマシテハ、政府ノ認可ヲ受ケル事項ガ相當ニ多クナツテ居リマス、併シナガラハ非常ナ變動等ノ場合ニ、急速ニ處置ヲスベキヤウナ、急速ヲ要スル場合ニ於テ認可ヲ受ケル場合ハ相當少イノデアリマシテ、定款ノ變更デアルトカ、餘剩物件デアルトカ、或ハ又取引員ニ對スル色々ナ監督ノ問題デアルトカ、サウ云ツタヤウニ色色認可ヲシマスレバ、情勢ノ變化ナキ限り度々認可ヲスルコトデハナイノデアリマス、取引所ガ急速ニ事態ニ應ジテ色々處置セヌナラス場合ニ於キマシテノ認可ト申スノハ餘程少ナイ、從來ト大シテ變リハナイト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(尾崎深尾隆太郎君) チョット今大藏大臣ハ他ノ委員會デ出席ヲ求メラレテ居リマスカラ、政府委員デ宜シケレバ、大藏大臣ハ其ノ方ニ行ツテ戴キマス、何レ又他ノ機會ニ於テ出デ御答辯シテ戴キマセウ

○奥主一郎君 ソレカラ尙御尋ネ致シタイト思ヒマスノハ、御承知ノ通り現在ノ取引所ハ今年ガ營業滿期ニナツテ居リマス、併シ事實、月デ申シマスト九月デアリマス、殊ニ神戸取引所ハ昭和二十一年ガ滿期ニナツテ居ルト思ヒマス、從ツテソレハ此ノ新法案

デ現在ノ取引所ノ、何ト申シマスカ、既得權ヲ奪フ、無論權利義務ハ承繼スル譯デアリマスグレドモ、一應奪フヤウナ風ニナルノデアリマスガ、私又一方理事者トシテ考ヘテ見マシテモ、是ハ現在ノ取引所ガ一應解散總會ヲ開クノデスカ、如何デスカ

○政府委員(田中豐著) 解散ニ付キマシテ、特ニ解散總會ヲ開カナイデ、直チニ法律ノ規定ニ依ッテ新シイ取引所ニ吸収統合セラレルト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○奥主一郎君 其ノ儘開カズニ吸収サレルヤウナ譯デアリマスカ

○政府委員(田中豐著) 左様デゴザイマス

○奥主一郎君 ソレカラ先程瀧川委員カラモ色々地方取引所ノコトニ付キマシテ御話ガアリマシタガ、假リニ地方取引所カラ清算ヲ取外シタト致シマスルト、總テノ取引ガ東京或ハ大阪ニ集中スル譯デアリマスルガ、御承知ノ通り今日電話ガ非常ニ輻輳シテ居リマシテ、只今京阪神カラ急報デ東京ニ約三時間、相場ノ開カレテ居リマスル間デアリマスルト先ヅ半日以上掛カルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ガ、果シテドウ云フ風ニ註文ヲ出スコトガ出來ルカ、恐ラク朝ノ九時ニ註文ヲ出シマシテモ、午後デナイト註文ガ出來ナイ、斯ウ云フ状態デナイカト思フノデアリマス、特ニ又清算ガ東京、大阪ニ集中スルト云フコトニナリマス、尙更此ノ電話ノ不足ヲ感ズルノデアリマスガ、此ノ點ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ、又一方カラ清算ガ中央ニ集中シマスル關係上、荷爲替ノ關係ト云フコトモ考ヘテ見ナケバナラスノデアリマス、在來其ノ地方デ處理ガ出來タ株券ガ、其ノ受渡シト云フモノガ全部デハアリマセスガ、大部

分東京、大阪ハ流レル譯デアリマス、先ヅ之ヲ計算ニ考ヘテ、一年間ヲ取ッテ見マス、十七年度ニ於キマシテ約二千二百萬株、金額ニシテ十五億圓位ニナルヤウニ記憶シテ居ルノデアリマスガ、此ノ株券ガ所謂荷爲替デシマシテ、是等ハ矢張り交通機關ガ不足ノ折柄ドウ云フ風ニ御當局トシテハ御考ヘデアリマスカ、或ハ又ソレニ對シテ何カ御施設デモナサルノデアリマスカ

○政府委員(田中豐著) 御話ノ如ク清算取引所ガ東京、大阪ノ二箇所ニ限ラレタ場合ニ、從來清算取引所ニ集ッテ居リマシタ清算取引ノ註文ト云フモノガ將來色々不便ニ相成ルカト思フデアリマス、御指摘ノ如ク電話ノ輻輳問題、荷爲替ノ問題ト云フヤウナコトモ考ヘラレラレノデアリマスガ、改正セラレマシタ場合ニ於キマシテハ取引員ノ支店、出張所ト云フヤウナモノヲ地方ニ認メマシタリ、或ハ其ノ代理店制度ト云フモノヲ認メマス、又從來ノ取引員ニ對シマシテハ、清算市場ガ設置サレナイ場合ニ於キマシテモ、清算ノ取繼ト云フコトヲ認メマス、サウ云フ方法ニ依ッテ從來清算市場ガアツタ、其處ヘ集ッテ居ッテ清算取引ノ委託ヲ東京大阪ノ兩市場ニ集メルト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ際ニ電話ノ輻輳ト云フヤウナコトモ豫想セラレマスガ、之ニ關シマシテハ、例ヘバ二時間トカ三時間トカ限リマシテ、或ハ半日ニ區切ルコトニ致シマシテ、一定ノ時間ニ集リマシタ註文ヲ全部集メマシテ、一本取引所カラ電話デ行クト云フヤウナ方法ヲ考ヘテ見タイト思ッテ居リマス、其ノ爲ニ多少時間ガ掛リマシテ、從來ノ如ク其ノ場ニ清算取引ガ行ハレテ居

ルヤウニ、直チニ註文ガ其ノ場ニ移ルト云フヤウナコトハ相當不便ニナル點ハアラウト思ヒマスガ、電話ノ輻輳其ノ他ヲ考慮致シマシテ、一定ノ時間若シクハ半日位宛ニ註文ヲ繼メテ一本ノ電話デ註文ヲ市場ニ導入スルト云フ方法ヲ考ヘテ見タイト思ッテ居リマス、荷爲替ニ付キマシテモ大體同ジヤウナ弊害ト申シマスカ、不便ガ或程度起ルカトモ思ヒマス、是等ニ付キマシテモ、成ルベク之ヲ受渡ヲ繼メテヤルトカ、サウ云ツタヤウナ方法ヲ考慮シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○奥主一郎君 甚ダ細カイトコヲ質問スルヤウデアリマスガ、實ハ此ノ荷爲替ニ於キマシテモ、資金運用令デ、儲カ三萬圓乃至五萬圓位ノ認可シカ受ケラレナイコトニナッテ居リマス、今回サウ云フ風ニ地方ノ註文ガ東京ナリ大阪ナリニ集ルト云フコトニナリマス、資金運用令ノ限度ヲ撤廢シナイト出來ナイヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(田中豐著) 御指摘ノ如ク荷爲替ニハ銀行等資金運用令ニ依リマシテソレノ制限ガアリマスガ、其ノ金額以上ニ付キマシテハ許可ヲ受ケレバ宜イノデアリマシテ、實際必要ナ取引上生ジタ荷爲替ノ問題ニ付キマシテハ銀行等資金運用令ノ運用上考慮致シタイト思ヒマス

○奥主一郎君 又チヨット御伺ヲ致シマス、此ノ第三條ニ「資本金ハ二億圓トシ之ヲ四百萬口ニ云々」ト書イテアリマスガ、此ノ資本金ヲ二億圓ト書イタノハ何カ根據デモアルノデスカ

○政府委員(田中豐著) 資本金ヲ二億圓ト致シマシタノハ、今回ハ、先程申上ゲマシ

タヤウニ、現在アリマス十一ノ取引所ヲ統合致シマシテ、新ラシク日本證券取引所ヲ設立致シマスノデ、此ノ現存ノ十一ノ資産ハ總テ新取引所ガ承繼スル、斯様ナ趣旨カラ先ヅ現在ノ十一ノ資本金其ノ他積立金、現實ノ資産ト云フモノ、是ハ將來評價委員會等ニ於テ十分檢討セラルベキ問題デアリマスガ、ソレニ大體ノ見當ヲ付ケテ、現在ノ積立金ト拂込資本金ヲ合セマシテ一億一二千萬圓ニナリマセウカ、ソレニ相當ノ含ミモアラウト云フヤウナコトヲ豫想致シマシテ、更ニ其ノ上ニ新取引所ハ新ラシク有價證券ノ引受、賣出ト云フヤウナ業務ヲ營ミマスガ、ソレニ要スル資金、竝ニ新取引所ハ全體ノ賣買ノ不履行カラ生ズル損害ノ賠償ノ責任ニ任ジマス等、サウ云ツタヤウナコトヲ考慮致シマシテ、二億圓ト定メタ次第デアリマス

○奥主一郎君 ソレデハ當局ノ方デ、二億圓ノ資本金デ以テ五朱ノ配當ハ出來得ルト云フ見込デアリマスガ、私ノ方ノ計算ヲヤッテ見タノデアリマスガ、約四五十萬圓ノ赤字ニナルヤウニ思ヒマス、今ノ御話ノヤウニ、是ハ將來ノ發展ヲ見越サレテ四五十萬圓ノ赤字ヲ見デ居ラレルノカ、或ハ又初年度カラ利益ニナルト云フ御見込デゴザイマス

○政府委員(田中豐著) 其ノ點ハ改革後ニ於キマス取引所ノ取引ノ賣買方法ヲドウスルカ、例ヘバ現在ノ短期ヲ廢止シテシマフトカ、或ハ長期モドウ云フ風ニ制限スル、斯ウ云ツタヤウナコトト非常ニ關係シテ参リマス、又將來ノ上場物件ニモ相當關係致シテ参ルコトデアリマス、又先程申シマシタ新業務タル株式其ノ他有價證券ノ引受、賣

出ト云フヤウナ業務ガドノ程度ニ發展シ得ルカト云フヤウナコトニモ關係致ス譯デアリマシテ、殊ニ賣買方法ノ變更ト云フヤウナコトハ、將來委員會ニ附議致シマシテ、其ノ決定ヲ俟ツテ決定致スコトニナッテ居リマス爲ニ、此ノ點ノ將來ノ經營、收支ノ豫測ト云フコトハ今日非常ニ困難デアリマス、清算市場ノ設置ニ付キマシテハ、先程大藏大臣ノ答辯致シマシタ如ク、東京、大阪ト云フコトニ一應考ヘテ居リマスガ、之ニ付キマシテモ、東京、大阪トシテ、或ハ其ノ他ニモ設ケルノト非常ニ茲ニ又違ヒガアリマスシ、サウ云ツタヤウナ事情デ、收支ノ豫測ハ非常ニ困難デアリマスガ、差當テノ收支ト致シマシテハ、初メカラ五朱ノ配當ガ出來ル程度ニ十分ノ餘裕ガアルトハ考ヘテ居リマセス、將來漸次新シイ業務ノ發展或ハ有價證券ノ取引ノ數量ノ増大等ニ依ツテヤツテ行ケルトハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○奥主一郎君 最後ニモウ一回質問致シタイ、要スルニ此ノ法案全體ト致シマシテハ非常ニ我々ハ穩當ナモノト信ズルノデアリマスガ、唯此ノ法案ニハナイノデアリマスガ、ソレニ關聯致シマシテ、所謂取引所ノ清算取引ノ設置場所ト云フコトデ以テ、非常ニ所謂地方取引員ニ激動ヲ與ヘルノデアリマス、寧ろ是ハ今此處デ御決定ニナラズニ、或ハ取引委員會等デモツテ能ク御檢討ニ相成ル方ヲ希望シテ置キタイノデアリマス、只今ノ通信機關ノ不便或ハ荷爲替ノ問題等モアリマス、又瀧川委員カラ申サレマシタヤウニ、此ノ整理セラレル地方ノ取引員ノナント申シマスカ、債權債務ノ始末モ非常ニ金額ガ大キイノデアリマス、全國ノ取

引員ハ約二百名ト致シマス、先ヅ一戸當リ二百萬圓ト見マス、四億圓ニマアナル譯デアリマス、是ハ全部ガドウト云フ譯デヤアリマセスケレドモ、要スルニ客カラ預カッテ居ル證據金ハ返サスシ又貸シテ居ルモノハ返ラス、斯ウ云フヤウナ狀態ニナリマスカラ、是ハ非常ニ地方ノ經濟界ニ大ナリ小ナリノ影響ヲ與ヘルノデアリマス、斯ウ云フ難問題モアリマスルカラ、寧ろモウ少シ、場所ノ御決定ヲ能ク御考慮ニナル方ガ却ツテ摩擦ヲ起サナイデ宜イノデヤナイカ、私等ハサウ思フノデアリマスガ、無論此ノ法案全體ニハサウ云フ場所ハ書イテハナイノデゴザイマス、非常ニ穩當ナモ財界ニ餘リ大シタ激動ヲ與ヘナイヤウニ、非常ニ御當局トシテ御考ヘニナッテ居ルヤウニ思フノデアリマス、唯私ノ意見トシテ一應申上ゲテ置キマス、是デ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐君) 清算取引所設置ノ場所ニ付キマシテハ、先程大藏大臣カラモ申上ゲマシタ如ク、衆議院ノ委員會デモ東京、大阪ニ決定スルコト云フコトヲ言明致シテ居リマス、將來、取引委員會ニ付議スル意向ハ政府トシマシテハ現在有ツテ居ナイ譯デゴザイマス、唯其ノ可否ニ付キマシテハ色々議論ノ餘地モアルコト思ヒマスガ、唯其ノ善後處置ニ付キマシテハ、御話ノヤウニ、債權債務關係等ニ付キマシテハ從來、取引員ノ廢業、突如トシテ廢業スルニ色々ノ困難ガアツト云フコトモ承知致シテ居リマス、新取引所ガ、此ノ七月位ニ發足致シタイ、設立シテ新業務ニ移リタイト云フ考デアリマシテ、相當期間モアルコトデゴザイマスカラ、其ノ間ニ債權債務等ヲ圓滑

ニ處理出來ルヤウナ措置ヲ講ジタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、又取引員ニシマシテモ、先程瀧川委員カラ從業員ノ御話モアツタノデアリマスガ、一取引所ニ付キマシテ千人以上ノ取引員ノ從業員ガアル所ハ東京、大阪以外ニハ殆ドアリマセス、名古屋ガ千僅カダト思ヒマスガ、後ハ七八百名ノ程度ダト思ヒマスガ、從業員等ニ付キマシテモ將來ハ實物市場ハ存續スル、ソレカラ更ニ、先程申上ゲマシタ如ク、清算市場ヘノ清算取引ノ取次ヲ認メルト云フヤウナコト、又中央ノ清算市場ガ或取引員ノ代理店ニナルト云フコトデ、相當清算市場ガ廢止サレタ後モ取引員ノ仕事ガアルト思ヒマスルガ、併シ何ト申シマシテモ、清算ガ廢止サレタ以上、仕事ガ相當激減スルコト云フコトハ、爭ヘナイ事實デアリマス、此ノ爲ニ相當人ガ、取引員ノ廢業デアルトカ、從ツテ從業員ガ職ヲ失フト云フコトモ出テ來ルカト存ズルノデアリマスガ、是等ニ關シマシテハ、從業員ニ付キマシテ、他ノ必要産業ヘノ轉換ヲ政府ニ於テ積極的ニ指導斡旋スルコト云フヤウナコトヲ考慮致シテ居ル譯デアリマス、移リ變リテ最モ圓滑ニスルヤウニ、各般ノ措置ヲ講ジタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○瀧川儀作君 奧委員ノ質問ニ關聯シテチヨツト御同ヒ致シタイ、舊會社ヲ新會社ニ合併スル評價方法ニ付テドウ云フ方法ヲ執リマスカ、例ヘバ此ノ問題ガ發表サレタ爲カドウカ分リマセスガ、東京ノ株式取引所關係ノ株ガ非常ニ暴落シマシタガ、ソレヲ最近ノ「マーケット」デ株ヲ商賣シテ居ッタ者ガアルトスルナラバ非常ナ莫大ナ損失ガ

來ル譯デアリマス、昔カラ其ノ當時カラ持ッテ居ッタ人ナラバ、五十圓ヲ拂込シタ人ナラバ、ソレデ宜イト云フ譯デアリマスガ、色色見込ヲ以テヤツテ居ッタ人ガアルトスレバ、サウナッテ來ルト大變ヲカシナモノニナリマスガ、殊ニ現在ノ株取引所ハ、一種ノ營利事業デアル、先刻申上ゲタ監督權ハ政府ニアリマスガ、手數料ヲ取ツテ營業ヲヤツテ居ッタ營利事業デアル、處ガ今度ノ新會社ハ國營ノヤウナモノデ、株主ノ發言權ハ殆ドナイノデ、配當モ制限サレテ居ル、ソレトノ合併ノ條件ト云フモノハドウ云フモノデアリマスカ、少シ細カイ所ニ立入ッテ聞クヤウデスガ、私ハ直接關係ハナイノデスケレドモ、其ノ關係ヲ一寸伺ヒマス

○政府委員(田中豐君) 新取引所ヲ設立ノ際ニ、設立委員ガ任命サレマシテ、是ガ舊取引所ノ株主ニ割當ツベキ新取引所ノ出資證券ノ數ト云フモノヲ決定致シマシテ、之ヲ政府ニ認可申請ニナリマスカラ、政府ニ於キマシテ、之ヲ取引所資產評價委員會ノ議ニ附シテ決定スル、手續ハ斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、御尋ノ點ハ、實質上ノ問題デアラウト思ヒマスガ、此ノ實質ニ付キマシテ、政府ニ於キマシテモ、色々研究ハ致シテ居リマスガ、何分是等ノ株式ハ、ソレノノ東西ノ取引所デ毎日取引セラレテ居ルノデアリマシテ、御説明申上ゲルコトヲ御許シ願ヒタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○瀧川儀作君 サウ云フ委員ハ、ドウ云フ方面カラ御採リニナリマスカ、公平ニ矢張り地方ハ地方ノ事情ノ分ル方面カラデスカ、或ハ官憲ノ方バカリデオヤリニナルノデスカ、其ノ邊ノ御方針ヲ御決メニナッテ

居ルノデアリマス

○政府委員(田中豐君) 公平ニヤルコトハ勿論デアリマス、委員ノ構成ニ於キマシテモ、關係官廳ノ官吏ノミナラズ、證券不動産等ガ取引所ノ原始資産ノ主ナルモノデアリマスカラ、サウ云フ専門家、民間ノ人ヲ入レマシテ、必要アレバ取引所ノ理事者等モ、臨時委員ト云フヤウナ形式デ入レマシテ、十分評價ノ適正公平ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵丹橋清賢君 今度ノ證券取引所法ノ提案ノ理由ヲ見マシテモ、有價證券ノ公正ナル價格ノ構成、及價格安定、有價證券ノ圓滑ナル流通ヲ目的トスルト云フ點ニアルヤウデアリマスガ、此ノ内地以外ノ外地ニ在ル、例ヘバ朝鮮ニ朝鮮取引所ガアリマシガ、關東州ニハ大連株式取引所ガアリマスガ、是等ハ勿論此ノ法案ノ適用外デアラウト思ヒマスガ、唯内地ノ取引所ノミニ、新シイ法律ヲ以テ規正シテ、外地ノ是等ノ取引所ヲ其ノ儘今日ノ儘ニ委シテ置クト云フコトニナルト、政府トシテモ斯ウ云フ御方針ヲ一貫シテ貫クト云フコトニ、色々ノ支障ガ生ズルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ハドウ云フ風ナ當局ハ考デセウカ

○政府委員(田中豐君) 御話ノ如ク朝鮮ト大連ニ取引所ガ、現在内地以外ニアリマス、是等ノ取引所ニ付キマシテモ、ソレハ内地ノ取引所改革ニ照應致シマシテ、善處スベキコトハ勿論デアリマシテ、朝鮮ノ取引所ニ付キマシテハ、此ノ内地ノ改革ニ準ジマシテ、改正ヲ早速ニ行フト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、大連ノ方ニ付キマシテハ、是ハ餘程事情ガ色々ト違ヒマスノデ、是ハ滿洲ノ證券取引所ト關係等ヲ考慮

致シマシテ、其ノ方面デ如何ニ處置スルカト云フコトヲ、目下研究中デゴザイマス

○子爵丹橋清賢君 只今ノ御答辯デ大體了承致シマシタガ、其ノ時期等ニ付テハ、内地ノ取引所ノ改正ガ實現スル時期ニ一致スルコトハ到底ムツカシイト思ヒマスガ、此ノ點ヲ一ツ念ノ爲ニ伺ッテ置キマス

○政府委員(田中豐君) 朝鮮ニ付キマシテハ、完全ニ一致スルトハ參ラヌカモ知レマセヌガ、大體前後致シマシテ、照應シテ平行シテヤル見込デゴザイマス

○委員長(伯爵深尾隆太郎君) 日本證券取引所法案ニ付キマシテ、外ニ御質問ハゴザイマセヌカ、尤モマダ一遍濟シマシテモ、元ヘ戻ッテ宜シウゴザイマスガ……ソレデハ是ハ此ノ儘ニ致シテ置キマシテ、次ノ市街地信用組合法案ニ移リマス

○子爵秋元春朝君 市街地信用組合法ガ今度出來ルノデスガ、産業組合ニ入ッテ居タモノモ、農業團體カ何カニ關係シテ御説明ガアリマシタガ、市街地ト云フコト其ノモノノ定義ト言ヒマスガ、範圍ト言フカ、構成ト云フモノヲドウ云フ風ナコトニ見テオ出デニナルノカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(阪田泰二君) 只今御質問ガアリマシタガ、市街地ト云フモノニ付キマシテハ、從來ノ産業組合法ニ付キマシテハ、市制施行地區、其ノ外ニ主務大臣ガ市街地ト指定シタモノ、斯ウ云フモノガ市街地ト云フコトニナッテ居リマシテ、其ノ實際ノ狀況ヲ見マシルト、市制施行地ニ於キマシテモ、最近ハ隣接町村ヲ併合スルト云フヤウナ色色ナコトガアリマシテ、市制施行地ニ於キマシテモ、相當農業ヲヤッテ居ル地域モアリ、サウ云フ事情デアリマスルシ、一方カ

ラ言ヒマスルト、市制施行地ニ隣接シテ居ル農村等ニ於キマシテモ、相當商工業者モ多數住ンデ居リ、密集シテ集團地ヲ成シテ居ルト云フヤウナ地域モ段々出來テ來ル、斯ウ云フ狀態ニナッテ居リマスノデ、今回ノ市街地信用組合ノ出來マス市街地ト云フモノニ付キマシテハ、大體實質的ニ見マシテ、相當商工業者トカ或ハ勤勞生活者、斯ウ云フモノガ多數集ッテ居住シテ居ル一團ノ地域ヲ實質的ニ見テ之ヲ市街地ト認メル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ行キタイト思ッテ居リマス

○子爵秋元春朝君 ソレハ人口カ何カノ標準ヲ設ケラレマスガ、ソレトモ漠然ト今仰シヤッタヤウニ、市街地トカ、或ハ勤勞者ガ多數ニ居ル所トカ、或ハ農家モ其ノ中ニ混ザッテ居リマセウガ、サウ云フ割合トカ比例トカ、何カサウ云フ標準デモアリマスカ

○政府委員(阪田泰二君) 從來市制施行地以外ノ指定市街地ト云フモノヲ定メマス場合ニハ、例ヘバ人口ガ一萬以上アルトカ、商工業者ガ人口ノ割合以上ヲ占メテ居ルトカ、サウ云フヤウナ色々ナ要件ヲ調査致シマシタ上デ決メテ居リマシタモノデアリマスガ、今後ニ於キマシテモ、餘リ小サナ所トカ、或ハ商工業者ノ割合ノ少イ所ニ指定致シテ見マシテモ、實際上市街地信用組合ハ成立シテ經營ヲヤッテ行クコトガ困難デアルト思ヒマスノデ、矢張り從來ト同様、或程度ノ基準ト云フモノヲ考ヘテ置イテ、市街地信用組合ノ區域ト云フモノヲ定メテ行ク、斯ウ云フ風ニ致シタイト存ジテ居リマス

○子爵秋元春朝君 其ノ最小限度ノ人口ト云フト、一萬ナラ一萬アル町トシマス、今仰シヤルヤウナ構成人口ガアルスレバ、ソレ以上ナラバ市街地信用組合ト云フモノノ設立ヲ許ストカ、或ハソレ以下ナラバ今度ハソレナシデ、普通ノ今迄アル信用組合デ行クトカ、何カサウ云フ區別ガアルノデスカ

○政府委員(阪田泰二君) ハッキリ一萬以上ト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌガ、ソレハ例ヘバ市制施行地ノ直グ隣リニ農村ガ隣接シテ存在シテ居ル、總數ニ於テハ一萬ニ達シナイカモ知レマセヌガ、其ノ中ニ相當商工業者ガ多數集ッテ居ル區域ガ市制施行地ニ接續シテアル、サウ云フヤウナ場合ヲ考ヘテ見マスルト、サウ云フ場合デモ、市制施行地ニアル市街地信用組合ノ區域ノ中ニ含メテ行ク、斯ウ云フコトガアルト思ヒマス、ソレデ唯一律ニ一萬以上ノ人口ヲ持ッテ居ル市町村ト云フ風ニハ考ヘマセヌガ、大體ノ標準ト致シマシテハ、矢張り全體ノ市街地信用組合ノ區域内ノ人口トシテハ、一萬程度ナケレバチヨット市街地信用組合ノ區域トシテハ不適當デハナイカト考ヘテ居リマス

○子爵丹橋清賢君 現在市街地ノ信用組合今度ノ法律ト違フヤウナ内容及ビ業務ヲヤッテ居ル場合ニハ、ソレハドウ云フコトニナルノデスカ、例ヘバ今度ノ法律ニ依ルト、組合員以外ノ貯金又ハ定期積金ノ受入ト云フヤウナコトハ出來ヌコトニナッテ居リマスガ、是迄アルモノハ、組合員以外デモ貯金トカ定期積金ノ取扱ヲヤッテ居ルモノガアルヤウニ思ヒマス、其ノ他多少業務方法ノ違フ所ガアルダラウト思ヒマスガ、サウ云フ點ヲ今度ノ法律ガ施行セラレタ場合ニ、ドウ云フ風ニ直シテ行クノデアリマスガ

○政府委員(阪田泰二君) 只今ノ御質問デ

ゴザイマスガ、大體現在市街地信用組合ト通常言ハレテ居リマスモノハ、産業組合法ノ第一條第四項ノ規定ニ依リマシテ、組合員外者ノ貯金ヲ取扱フトカ手形割引ヲスルト云フコトヲ特ニ認メラレタ組合デアリマスガ、サウ云フモノガ今回ノ市街地信用組合法ニ依ッテ規律セラレルコトニナリマシテモ、大體今回ノ法律ニ依ル業務ノ範圍ト大體業務ノ範圍ハ同ジニナッテ居リマシテ、現在ノ市街地信用組合ガ此ノ法律ニ基キテ變テ場合ニヤリ得ル業務ノ範圍ガ、其ノ爲ニ狭クナルト云フヤウナコトハナイ積リデゴザイマス、ソレデ只今ノ組合員外者カラ貯金ヲ受入レルト云フヤウナ問題デアリマスガ、是ハ今回ノ法律ノ第三十條ノ第二項ニ、命令ヲ以テ定ムル者ノ貯金、定期積金ノ受入ト云フコトガ認メラレルヤウニナッテ居リマスガ、此ノ規定ノ命令ニ依リマシテ、大體現在行ッテ居リマスル範圍ノコトハ認メルヤウニシテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘデゴザイマス

○子爵舟橋清賢君

サウスルト、將來ハ組合員以外ノ定期積金トカ貯金ノ受入ハ是認セラレル御方針デスカ、或ハ現在ヤッテ居ル範圍ハ、將來ト雖モ此ノ命令ヲ以テ定ムルト云フコトデ御許シニナル御方針デスカ

○政府委員(阪田泰二君)

將來ト雖モ認メテ參ル方針デアリマス、唯矢張り此ノ市街地信用組合ト云フモノハ組合組織ト云フモノガ根本デアリマスカラ、全體トシテ組合員ノ貯金、定期積金、斯ウ云フモノガ中心ニナッテ行クト云フ考ハ同様デアリマスガ、員外貯金モ併セテ認メテ行ク、是ハ將來モ其ノ方針デゴザイマス

○子爵舟橋清賢君

實際ハ組合員以外ノ貯金ト云フモノガ多數デアッテ……現在貯蓄獎勵デ隣組トカ町内會ヲ動員シテ、頻リニ斯ウ云フ所ヘ組合員以外ノ貯金ガ集ッテ居ル、勿論當座預金ノヤウナモノハヤッテ居ラヌヤウデスカ、ソレデモ特別ノ事情ガアルト、定期積金デモ拂ヒ戻シタリ何カヤッテ居ル、從ッテ貯蓄銀行ナドト同ジヤウナ業務ヲヤッテ居ルト見ラレナイコトモナイ、將來モサウ云フ範圍ニ於テソレヲ許サレルト、貯蓄銀行方面トノ仕事ノ分野ト云フモノガ極メテ不明確ニナルト思ヒマス、其ノ點如何デスカ

○政府委員(阪田泰二君)

只今市街地信用組合ガ貯金、定期積金等ヲヤッテ居リマシテ、又員外者カラモサウ云フモノヲ取扱ッテ居ル、斯ウ云フコトハ仰セノ通りデゴザイマスガ、是ハ大體現在ノ法規ニ依リマシテヤリ得ル範圍デアッテ居ル、斯ウ云フ譯デゴザイマス、ソレデ定期積金ニ付キマシテハ實ハ現在ノ産業組合法ニハハッキリシテ規定ガナイノデゴザイマスガ、是ハ從來カラ解釋上定期積金ト云フモノヲ含ムト云フコトデアッテ居ル譯デゴザイマス、今度ノ法律ニ依リマシテ其ノ點ハ、矢張り法律上性質ノ違フモノハハッキリ書クベキデアルト云フコトデ、定期積金ト云フモノヲ加ヘタ譯デアリマス、從來カラ市街地信用組合ト云フコトデ産業組合全部ニ付キマシテ認メラレテ居ラヌモノデゴザイマス、ソレデ今後市街地信用組合ト貯蓄銀行トノ業務ノ分野ヲドウ云フ風ニ考ヘテ行クカト云フコトデゴザイマスガ、大體貯蓄ヲ吸收シテ行ク、斯ウ云フ方針ニ於キマシテハ、貯蓄銀行ト市街地信用組合ト云フモノハ何レモ大體同ジヤ

○子爵舟橋清賢君

大體了承致シマシタガ、私ノ懸念スル所ハ、斯ウ云フ資金ハ組合員外カラモ集メルガ、併シ貸出等ハ組合員デナケレバナラナイ、サウ云フコトニナリマスルト、將來組合ニ損害等ガ生ジタ場合ニハ組合員外ニモ迷惑ヲ掛ケルト云フヤウナコトガ生ジテ來ル懸念ガアルト思フ、サウ云フ場合ニ救済法ト云フモノハ組合員外ニハナイノデ、組合員デアレバコソ組合ト共ニ利害ヲ共ニスルト云フコトデアリマスガ、銀行ノヤウニ組合員外カラ依然トシテ資金ヲ集メテ居ルト云フ場合ニ、組合ガ萬一倒潰スルト云フヤウナ場合ニハ銀行ノ取付ト同ジヤウナコトニナルト云フヤウナコトノ起ル虞ガアリハシナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ、勿論ハ監督方法ニ依ルノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ組合組織ノモノハ、預金ノ取扱モ組合員ニ此ノ法律其ノ儘ニ限定シテ將來ヤッテ行カレルベキモノデアアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマ

ス、念ノ爲ニ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(阪田泰二君)

市街地信用組合ノ預金取扱ニ付キマシテ、組合員外ノ貯金者ニ對スル保護ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、大體現在ノ市街地信用組合ノ資金狀況ニ付キマシテハ、他ノ金融機關等ト同様ノ傾向ニアリマシテ、貯金ハ非常ニ澤山増加シテ參リマスガ、組合員ニ對スル貸付ハ其ノ割ニ増加致サナイ、從ッテ集リマシタ資金ノ大部分ハ國債トカ、政府保障ノ債券トカ、斯ウ云フモノヲ保有シテ居ルト云フ狀態ニナッテ居リマス、ソレカラ又政府ト致シマシテモ、從來カラ集ッテ資金ハ出來ルダケ之ヲ計畫的ニサウ云フ國債トカ生産力擴充資金ニ流シテ行クト云フ建前ノ下ニ相當積極的ニ指導統制ヲヤッテ居ル譯デアリマス、ソレデ今回市街地信用組合法ガ出來マシテ、ソレデ市街地信用組合ガ規正セラレルコトニナリマスニ付キマシテハ、色市街地信用組合ニ對スル監督ノ規定ヲ強化致シマシテ、例ヘバ組合長、理事等ノ役員等ニ付キマシテハ、今迄ハ必シモ適切デナイ人ガサウ云フ地位ニアッタト云フヤウナ事例モアリマスノデ、今後ハ其ノ選任、解任ヲ認可制ト致シマシテ、又事業ノヤリ方ニ付キマシテモ從來ハ定款ニ色々細カイ規定ガアルノデアリマスガ、全體トシテ此ノ事業ノヤリ方ニ付テ規正スルト云フハッキリシタ方式ガナカッタ譯デアリマスガ、今回ハ矢張り組合毎ニ事業方法書ト云フモノヲ決メサセルコトニ致シマシテ、貯蓄銀行トカ無盡會社等ニ付テヤッテ居リマスト同様ニ其ノ貯金トカ貸付トカ、サウ云フ業務ニ付キマシテ一定ノ方式ニ從ッテ、統一シタ方針デ其ノ事業

方法書ト云フモノヲ作ラセマシテ、政府ガ

ソレヲ認可致シマシテ、ソレニ依ッテ事業ヲ
ヤラシテ行ク、又餘裕金ノ運用等ニ付キマ
シテハ、從來ハ法律上ハ何等制限ガナカッタ
ノデアリマスガ、豫備金ノ運用等モ法律デ
ハキリ決メマシテ、其ノ他法律上市場地
信用組合ノ資金ノ吸收、運用ニ付テ政府ハ必
要ナ命令ヲスルコト、斯ウ云フ規定モ入レ
マシテ、色々全體トシテ市場地信用組合ノ
資金ノ運用ノ堅全ニ行ハレマシテ、貯金者
ガ十分ニ保護サレル、斯ウ云フヤウナ次第
ニナリマスルヤウニ指導監督上留意シテ行
キタイ、斯ウ云フヤウナ積リデ居ル譯デア
リマス、ソレカラ尙サツキチヨット申シ落シ
マシタガ、組合員外者カラノ貯金ノ受入ノ
問題デアリマスガ、是ニ付キマシテハ組合
員外者デアリマシテモ、大體組合ニ加入ス
ル資格ガナイ、斯ウ云フ人ハ少イト思ハレ
ルノデアリマシテ、大部分ノ人ハ地區内ニ
居住シテ居リマシテ、組合ニ入レバ入レル、
サウ云フ人ガ偶々組合ニ入ル所ノ手數ヲシナ
イ、併シ組合ニ便宜ガアルカラ金ヲ預ケル、
斯ウ云フヤウナ關係ニナツテ居ル場合ガ非
常ニ多イヤウニ思ハレマスルノデ、方針ト
致シマシテハ、員外貯金ト云フヤウナ形デ
非常ニ澤山受入レル斯ウ云フコトハ避ケサ
セマシテ、或程度以上ノ取引關係ガアル者
ハ組合ニ加入サセルヤウニ考ヘテ行ク、斯
云フ風ナ方法デ、勿論組合員カラノ受入貯
金ニ對シテ組合員外カラノ者ガ不權衡ニ多
クナル、其ノ結果御話ノヤウナ不安ナ狀態
ガ起ル、斯ウ云フヤウナコトヲ避ケサセル
ヤウニ指導シテ行キタイト云フ氣持デ居リ
マス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 他ニゴザイ

マセスカ……、速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 速記ヲ始メ

テ……

○政府委員(原口武夫君) 米貨債ト英貨債

ノ總額ガ二十七億バカリニ上ツテ居リマス、
爲替ノ換算率ハ大東亞戰爭勃發直前ノ爲替
相場、即チ米貨ニ對シテ三十三「ドル」十六分
ノ一、英貨ガ「シリリング」二「ペンス」、是
デ換算ヲ致シマシテ、大體二十七億バカリ
未償還額ガ殘ッテ居リマス、其ノ中國債ヲ米
貨債ト英貨債ニ分ケマシテ、米貨ノ國債ノ
中本邦人ノ持ッテ居リマスルモノガ五億五
千六百萬圓、ソレカラ外國人ノ持ッテ居リ
マスルモノガ九千二百八十六萬圓餘、合計
致シマシテ六億五千萬圓程ニ上ツテ居リマ
ス、ソレカラ英貨ノ國債、是ハ本邦人ノ持ッ
テ居リマスルモノガ四億二千三百萬圓餘ニ
達シテ居リマス、外國人ノ持ッテ居リマスル
モノガ八億七千七百萬圓、合計致シマシテ
約十三億バカリニ上ツテ居リマス、國債ヲ米
貨ト英貨ト只今申上ゲマシタノヲ合計致シ
マスルト、日本人ノ持ッテ居リマスルモノ
ガ九億八千萬圓、外國人ノ持ッテ居リマスル
モノガ九億七千萬圓、合計致シマシテ丁度
半分々々位ニナリマス、十九億五千萬圓ニ
ナリマス、只今申上ゲマシタノハ國債ノ關
係デゴザイマスルガ、次ニ地方債、是ハ東
京市債、橫濱市債、名古屋、大阪ト分レテ
居リマスルガ、其ノ米貨ガ日本人ノ持ッテ居
リマスルモノガ七千九百萬圓、ソレカラ外
國人ノ持ッテ居リマスルモノガ二千七百萬
圓、合計致シマシテ一億六百萬圓程ニ相成
リマス、同様ニ英貨債デ日本人ノ持ッテ居リ
マスルモノガ二千五百萬圓、ソレカラ外國

人ノ持ッテ居リマスルモノガ一億一千百萬
圓、合計致シマシテ一億三千六百萬圓、ソレ
デ只今申シマシタ地方債ノ米貨ノ合計ガ
日本人ノ持ッテ居リマスルモノガ一億四百
萬圓、ソレカラ外國人ノ持ッテ居リマスルモ
ノガ一億三千八百萬圓、合計致シマシテ三
億四千二百萬圓ニ相成リマス、ソレカラ次
ガ社債デアリマスルガ、米貨ノ社債、是デ
日本人ノ持ッテ居リマスルモノガ二億七千
二百萬圓、外國人ノ持ッテ居リマスルモノガ
一億七千八百萬圓、同ジク英貨ノ社債、日本
人ノ持ッテ居リマスルモノガ三百三十六萬圓、
外國人ノ持ッテ居リマスルモノガ五千六十
六萬餘圓ニ上ツテ居リマシテ、合計致シマシテ
五千四百萬圓ガ英貨ノ社債ニナリマス、社債
ノ英米貨ヲ合計致シマスルト、日本人ノ持
テ居リマスルモノガ二億七千五百萬圓、外
國人ノ持ッテ居リマスルモノガ二億二千九百
萬圓、合計致シマシテ五億四百萬圓程ニ相
成リマス、只今申上ゲマシタノヲ全部合計
致シマスルト、米貨ガ國債、地方債、社債
ヲ通計致シマシテ日本人ノ持ッテ居リマスル
モノガ九億七百萬圓、外國人ノ持ッテ居リマ
スルモノガ二億九千八百萬圓、合計致シマ
シテ米貨ノ方ガ十二億五百萬圓、ソレカラ
英貨ガ同ジク國債、地方債、社債、日本人
ノ持ッテ居リマスルモノガ四億五千百萬圓、
外國人ノ持ッテ居リマスルモノガ十億四千萬
圓、合計致シマシテ十四億九千萬圓程ニ相
成リマス、是等ヲ全部寄セマスルト二十七
億ニ相成リマス、只今申シマシタ申デ外國
人、此ノ中ノドノ程度ガ友好國人所有カハ、
實ハ無記名債券デゴザイマスルノデ判明致
シテ居リマセスガ、大部分ハ敵國人所有ト
御諒解願ッテ宜カラウト存ジマス

○子爵秋元春朝君 今ノ敵國人所有ト云フ
御話デスガ、本邦内ニ抑留サレテ居ル敵國
人ガ澤山居ルノデスガ、是ナドモ相當ニ外
貨債ナシカ持ッテ居ル人ガアルドラウト思フ
ノデスガ、サウ云フヤウナコトモ御調ハ付
イテ居リマスカ、ソレトモサウ云フノハド
ウ云フ風ニナリマスカ、敵産ニナルノデヤ
ナイカトモ思ヒマスガ、ソレハドウ云フコ
トニナリマスカ

○政府委員(原口武夫君) 本邦内ニ居リマ

スル敵國人モ或ハ持ッテ居ルモノガアラウカ
ト存ジマスルガ、無論サウ相成リマスレバ、
ソレハ敵産トシテ管理ヲ受ケルコトニナリ
マスルシ、其ノ敵國人所有分トシテドノ位
ノ今日本ニ居ル敵國人ガ持ッテ居ルカト云フ
調ハマダ付イテ居リマセス

○子爵秋元春朝君 同時ニ法人ノ分モ相當

アラウト思ヒマスガ、是モ御調ハアリマス
カ

○政府委員(原口武夫君) 「ボージン」ト云

フノハ……

○子爵秋元春朝君 外國法人ノ……

○政府委員(原口武夫君) 外國法人ノ分モ
是ハ無記名債券デゴザイマシテ、從來大體利
拂ヲ向フデヤツテ「クローボン」ト引換ニヤツテ
居リマシタノデ始終轉々致シマスノデ、法
人ガドノ位持ッテ居リマスルカ、チヨット調
ガ出來テ居リマセス

○子爵秋元春朝君 ソレカラ此ノ邦人ノ持ッ

テ居ルノハ、殆ド帝國内ニ在住スル邦人ガ
持ッテ居ルドラウト思ヒマスガ、サウスルト
是ノ利拂トカ何トカ云フ關係ハドウ云フ風
ニナツテ居リマスカ

○政府委員(原口武夫君) 只今邦人ト仰シ

ヤイマシタノハ、内地人ノ持ッテ居ル分ト云

フノハ……

○政府委員(原口武夫君) 只今邦人ト仰シ

フノハ……

フ意味ト思ヒマスガ、國內ニアリマス分ハ、大東亞戰爭ガ始リマス前ハ、外國爲替管理法ニ基キマシテ、便宜國內デ利札ヲ賣ル、サウシテ利拂ヲ受ケル、其ノ爲替換算率ハ、只今申シマシタ大東亞戰爭直前ノ二十三「ドル」何ガシ、「シリリング」二「ペンス」、斯ウ云フモノデ、便宜國內デ利拂ヲ受ケルト云フコトニ致シテ居リマシタ、是ハ申上ゲル迄モナク、契約上ノ義務トシテ發行者ハサウ云フコトヲ致シテ居ッタノデハナイノデアリマス、契約上ニ於キマシテハ日本デ支拂フ義務ハゴザイマセヌ、爲替ノ方ノ特別ノ取扱ト致シマシテ、便宜國內ニアル證券「クローポ」ト云フモノハ、日本ノ内地デ現レテ居リマシタ所有者ニ付キマシテハ、大戦前ニ於キマシテハ、敵國人ノ分モ國內分ハ同様ニ致シテ居リマシテ、友好國人ノ分モ差別ナク、日本人ト同ジヤウニ國內デ拂ハレテ居リマシタ、處ガ大東亞戰爭ガ始リマシテカラ、本邦人及友好國人ノ分ト云フモノニ付キマシテハ、從來通りヤッテ居リマシタガ、敵國人所有ノ分ニ付キマシテハ、敵産管理法ニ基キマス命令ニ依リマシテ、相當ノ圓價格ヲ國內ニ於テ、特殊清算勘定ト云フモノニ拂込ミ、ソレニ依ッテ發行者ハ債務ヲ免レル、斯ウ云フ取扱ヲ今日迄致シテ参リマシタ、敵國人ノ所有分ノ大部分ハ海外ニゴザイマス、「ニューヨーク」或ハ「ロンドン」ノ利拂ハ、大戦開始ト同時ニ實際上實行不可能ト相成リマシテ、暫定的ニ左様ナ措置ヲ執ッテ参リマシタ、併シ之ニハ色々不都合ナコトガ起ッテ参リマスルノデ、今回特別ノ立法ヲ致シマシテ、御審議ヲ願ッテ居ル次第デゴザイマス

○上野喜左衛門君 此ノ外貨債ノ發行者ハ、

本法ニ依ッテ借換發行ヲスルコトニナル譯デスガ、本法ニ依リマスト、第六條ニ依ッテ其ノ損失ヲ補償シテ、サウシテ第十條デ對價ガ超過スル時ハ政府ニ納入スルコトニナルヤウデスガ、現在ノ二十七億ノ中、借換ヲサセラレテ政府ガ補償シナケレバナラヌ金額、或ハ受入ルベキ對價ニ依ッテ超過スル金額ハ、差引シマスト、何レハ處理委員會ニ諮ッテ後デセウケレドモ、現在ノ發行條件ナシカ睨ミ合シテ、大約ドノ位ノ御見込カ、御見込ダケ知ラシテ戴キタイノデス

○政府委員(原口武夫君) 是ハ實ハ第二條ノ借換ト云フモノハ、強制借換ニナッテ居リマセヌ、部分的ニハ、日本人デ借換ヲ希望スルカドウカト云フ意思ノハッキリ致シマセヌ場合ニ於キマシテハ、承諾シタモノト看做スト云フ部分ノナ強制借換ノヤウナ形ニナッテ居リマスケレドモ、全般的ニハ當該所有者ノ意圖ニ依ッテ借換ヲスル、而モ其ノ對象ニナリマス全額ノ中、大體半額ノ十三億何ガシト云フモノヲ豫定致シテ居リマス、借換ヘラレナイモノハ政府ニ肩替リスル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居リマスルノデ、政府ニ肩替リスルモノヲ一應豫定ヲシテ、残りガ十三億何ガシ、半分々々ト云フコトニ只今見込ヲ付ケテ居リマス、御尋ニナリマシタ政府補償ノ問題、肩替リノ對價、其ノ差引勘定ハ、是等ハ總テ外貨債處理委員會ニ諮リマシテ、借換ノ條件ト云フモノガスツカリ決リ、政府ノ補償ガ決リ、肩替リ對價ノ基準ガ決リ、左様ニ致シマセスト其ノ金額ハハッキリ致シテ参リマセヌ、一應ノ所ダケ別ニ御審議ヲ願ッテ居リマスル豫算ノ基礎ト致シマシテ、是ハ實行上ハ無論變ルモノト存ジテ居リマスルガ、十八年度ノ豫

算編成ノ積算ノ基礎ト致シマシタ所ニ依リマスルト、地方債、社債ニ付キマシテハ、借換ノ損失補償金ガ大體二千萬圓、ソレカラ借換ノ利益ノ納付金ガ三百二十萬圓バカリ、差引ヲ致シマシテ補償ノ方ガ一千五百八十萬圓程多クナッテ居リマス、ソレカラ最後ニ證券ノ對價、政府ガ地方債ナリ社債ノ債務ヲ肩替リ致シマスル爲ニ、發行者ガソレニ付ケテ政府ニ出シマスル納付金、是ガ二億四千八百萬圓、斯ウ云フ基礎ノ下ニ只今御審議ヲ願ッテ居リマスル豫算ハ、一應積算ヲ致シテゴザイマス

○岩田宙造君 第六條ニ規定シテ居ラレマス「借換ニ因リ生ジタル損失」ト云フノハ、ドウ云フ損失ヲ意味シテ居ルノデアリマスカ
○政府委員(原口武夫君) 是ハ申上ゲル迄モナイノデアリマスガ、政府ノ補償スル損失ヲ決スル基準ハ、外貨債ノ處理委員會ノ議ヲ經テ之ヲ決メルト書イテゴザイマスルガ、實ハ此ノ全般ノ問題ノ一ツノ環トシテ此ノ問題ヲ考ヘマスルト、此ノ場合ニ發行者ノ利害、所有者ノ利害、是ガ裏表ニナルコトハ御承知ノ通りデアリマス、一方ニ宜ケレバ一方ニ悪ク、其處ハ政府ガ入ッテ來テ第三者トシテ、國庫ノ負擔トシテ處理ヲスル、斯ウ云フ建前ニ全體ガナッテ居ル、御尋ノ損失ト云フモノヲドウ云フ風ニスルカ、其ノ基準ヲ決メマスニ當リマシテモ、只今申シマシタヤウニ、關係三者ノ正當ナル負擔ト云フモノヲ先ツ考ヘマシテ、第一ニ發行者ガ負擔スベキ正當ノ負擔ハドノ邊ニアルカ、國內借換ノ對象ニナリマス所有者ノ見地トシテ、正當ニ之ヲ保全致シマスル場合ノ借換ノ條件ハドウナルカト云フコトヲ

見マシテ、ソコノ差額ハ損失トシテ見ル、マア斯ウ云フ考デ實ハ行ッテ居リマス、必ズシモ帳簿上ノ損失ト云フコトニハ實ハ考ヘテ居リマセヌ、或場合ニ於キマシテハ、帳簿上ノ損失ト一致スル場合モゴザイマス、大體ノ見込トシテハサウ云フ考ヘ方デ行ッテ居リマス

○岩田宙造君 此ノ借換ノ條件ハ、色々事情ヲ斟酌シテ決定サル、コトカト思フノデアリマスガ、併シ要スルニ現在持ッテ居ル外貨債ガ、日本ノ金デ今評價シテ見ルト幾ラニ當ルカト云フコトヲ諸種ノ事情ヲ斟酌シテソレヲ評定サレテ、ソレガ今度借換ノ邦貨ノ金額ニナルノガラウト思フノデアリマス、ソレガ正當ニ行ハレマスルナラバ、例ヘバ其ノ外貨債ヲ持ッテ居ル人ノ方ノ立場カラ言ヘバ、假令今帳簿價格ガドウナッテ居リマセウトモ、現在持ッテ居ル其ノ債券ノ價格ダケノモノハ貰フノデスカラ、チヨット損失ト云フモノハナイヤウニ思フノデアリマスガ、ソレカラ又發行者ノ方カラ見マシテモ、見様ニ依ッテハ今現在ノ正當ナ價格デ買取ルノト同ジコトニナリマスルカラ、是モ見様ニ依ッテハ其ノ評價ガ正當デアラナラ、損失ト云フモノハ起ラナイノデヤナイカト思ハレルノデアリマスガ、ソコデ損失ト云フモノガ起ルト云フノハ、其ノ損失ト云フモノヲドウ云フ風ニ見ラレテ、何ヲ以テ損失ト見ラレタノデアリマスカ、ソレガ私ニチヨット分ラナイノデス、其ノ評價ガ正當ニ行ハレルナラバ、現在ノ價格デ買取ッテ、其ノ代金ヲ以テ借替ニ充當シタト同ジコトニナリマスルカラ、チヨット損失ト云フ觀念ガナイヤウデヤナイカト思フノデアリマス、ソコデ損失ト云フモノハドウ云フ性質ノモノ

ヲ見ラレルト云フ意味デアルカト云フコト
ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(原口武夫君) 仰セノ通り、コ、ニ發行者トシテ負擔スベキ適正ナ基準ト云フモノガハッキリ致シマスルト、ソレヲ直グ移シテ所有者ニ行クト云フコトモ考ヘラレルノデアリマスルガ、實ハ御承知ノ通り此ノ爲替相場ノ問題ト云フモノガコ、ニ入ッテ参リマス、又發行者ト致シマシテ色々ノ時期ニ外債ヲ募集シテ居リマス、明治ノ初メカラズト色々ナ爲替相場ノ時ニ此ノ金ヲ或ハ借替ノ爲、或ハ其ノ大部分ハ日本ニ取寄セテ使ッテ居リマス、處ガ其ノ後ニ御承知ノ通り爲替相場ノ變動ト云フモノハ色々ノ筋途ヲ辿ッテ参リマシテ、最近ニ於キマシテハ約七、八年、十年ノ間ハ日本ノ金ト云フモノハ英貨、米貨ニ對シテ殆ド下ル一方デゴザイマシタ、從ヒマシテ發行者ノ圓ノ負擔額ト云フモノハ相當起債當時カラ見マスルト殖エテ居リマシタ、ト申シマスコトハ之ヲ裏表カラ申シマスルト、「ホールダー」ト云フモノハ、可ナリ多クノ金ヲ借換ノ對象ニナル「ホールダー」、所有者ト云フモノハ可ナリ多クノ金ヲ貰ッテ居ッタノデアリマス、ソコデ是ガ債務ノ本旨ニ從フ履行ト云フコトガ可能デゴザイマスルガ、或ハソレニ近イヤウナ状態ガアル場合、譬ヘテ申シマスルト、往年滿鐵ノ社債ヲ政府ガ肩替ヲ致シタコトガゴザイマス、ア、云フ場合ニ於キマシテハ非常ニ事柄ハ簡單ナンデアリマシテ、アノ場合ニ於キマシテモ細カク申シマスルト色々ナコトガゴザイマシタガ、併シアレハ日本政府ガ矢張り引繼イデ「ロンドン」ニ爲替ノ送金ヲ拂ヘル、斯ウ云フコトニナッテ居リマシタカラ、比較的簡單デゴザ

イマシテ、只今仰セノヤウナ適正肩替價格ト申シマスルカ、適正負擔、サウ云フモノノ裁定ハ容易デアッタノデアリマスルガ、今回ノ場合ニ於キマシテハ、是ハ全ク豫期セザル事實、而モ發行者ノ起債當時以後ノ負擔關係ハ左様ナ變化ガ起ッテ居リマス、ソレカラ所有者、是亦申落シマシタガ、先程申シマシタ十三億何ガシノ日本人關係ノ約四割八分ト云フモノハ、廣イ意味ノ金融業者ガ持ッテ居リマス、銀行、證券業者、或ハ信託會社、サウ云フ所ニゴザイマス、之ニ對シテ非常ニ大キナ變化ヲ、是ハ理窟ヲ離レマシテ起サセルト云フコトニ相成リマスルト、ソコニ金融界ニモ響キガ來ル、元來ガ斯ウ云フ措置ヲ致シマスコト自體ガ、發行者ノ過當ノ負擔ヲ除キ同時ニ所有者ノ不安ヲ除去スル、斯ウ云フ大キナ狙ヒガ、是ハ全部デアリマセヌガゴザイマスルシ、尙又只今申シマシタ是ガ御答ノ中ノ重要ナ部分ニナルノデアリマスガ、爲替相場ニ付キマシテモ、本件處理ニ付テドウ云フ相場ヲ取ル、是ハ總テ日本ノ圓ト英米敵貨トノ換算率デアリマシテ、之ニ付キマシテ日本人同志ノ間デ利害ノ關心ヲ持ッ、成ルベク是ハ宜イ方ガ宜イ、一方ハ成ルベク高イ方ガ宜イ、斯ウ云フゴタノ下ニ起サセル、而モ相手ハ敵國デアルト云フコトガ、政治上誠ニ面白クナイト云フコトガ、非常ニ大キナ今回ノ措置ノ理由ニナッテ居リマス、只今仰セニナリマシタ筋ニ依リマシテ、出來ルダケ適正ナ負擔ハ、發行者ノ負擔スベキ適正ナ負擔ハ決メル所存デハ居リマスルガ、ソレヲ直グ政府ガ中ニ入リマセヌデ所有者ニ移シテ行クト云フコトハ、大勢カラ見マシテモ、又只今申シマシタ色々ノ過去ノ經緯、又現狀ニ於キマシテ困難デアラウト斯ウ存ジマシテ、其ノ間ニ國ガ入リマシテ、サウシテ所有者ニハ損失補償ハ致シマセヌデ、是ハドチラニ致シテモ宜イノデアリマスガ、今回ノ建前ハ發行者ニ對シテ或程度ノ損ガ行ケバ、ソレヲ補償シテヤル、斯ウ云フ建前ヲ執ッテ次第デアリマス

○岩田宙造君 サウスルト、今度ノ損失補償ト云フノハ發行者ニ對シテノミデスカ、所有者ノ方ニハナサライノデスカ
○政府委員(原口武夫君) 左様デゴザイマス
○岩田宙造君 發行者ノ方デアリマスルト、或ハ損失ト云フコトヲ考ヘラレル餘地ガアルトモ思ハレマスガ、ソレモ今ノ御説明ダケデハ十分能ク分リマセヌガ、或ハ何等カソコニ損失ガアッテモ、ソレハ斯ウ云フ戰爭ガ起ッタカラサウ云フ關係ニナル、特ニ所有者ノ方カラ見レバ極メテ明瞭デスカ、今迄自分ガ正當ナ時價ヲ買ッテ居ッタノガ、今度ハソレダケガ貰ヘナイト云フ場合ニハ、是ハ矢張り借換ニ依ッテ生ズル損失デアリマスケレドモ、ソレハ斯ウ云フ時局ノ爲ノ損失デアッテ、借換ナシト雖モソレダケノ損失ハ生ジテ居ルノデアリマスカラ、借換ニ依ッテ生ジタ損失ト云フコトハ言ヘナイノデアリマスガ、此ノ方ハ極メテ明瞭デアリマスガ、發行者ノ方ノ場合ニナリマスルト、チヨット少シ明瞭ヲ缺キマスケレドモ、是デモ正當ナ評價ニ依ッテ今之ヲ拂フトスレバ、是ハ幾ラノ債務ニ評價スルノガ正當ダト云フコトデ、ソレダケノモノヲ拂ハセラレルノデアリマスカ、或ハ最初ノ計畫カラ行ケバ損ニナッテモ、是ハ斯ウ云フ時局ノ爲ニ生ジタ損失デアッテ、借換ニ依ッテ生ジタ損失デハナイト

モ見ラレルノデアリマシテ、其ノ損失ト云フ觀念ガドウモ少シハッキリシナイノデアリマスガ……
○政府委員(原口武夫君) 少シ細カクナリマスルガ、大變重要ナ點デゴザイマスルノデ、モウ一應私カラ申上ダマス、是ハ色々ノ方カラ色々ナ問題ヲ申上ダナケレバイカヌノデアリマスルガ、只今發行者ノ關係ニ付テチヨット御指摘ガアリマシタノデ申上ダマス、戰爭ガ始マリマシテ何故ウツチャッテ置ケナイカト申シマスルト、發行者ト致シマシテハ、マア内地ノ日本人ノ持ッテ居ルモノハ是ハ爲替相場ノ大キナ問題ガゴザイマス、二十三「ドル」ナニガシデアアルガ、日本ハ戰爭デ勝ッタカラ是ハ「バー」ニナッテモ宜イノデヤナイカト云フヤウナ議論モアリマスガ、ソレハ別ト致シマシテ、從來通り拂ッテ居ルト致シマシテモ、敵國人所有ノ分ニ付テハドウナルカ、之ヲ減債基金ヲ働カセマセヌデ、アノ高イ利拂ヲ二十三「ドル」ナニガシデアラレタノデハ、是ハナカノ發行者トシテハ堪リマセヌ、大部分ノ外債ニハ減債基金ガ附イテ居リマス、極ク少數ノモノニハ附イテ居リマセヌガ、地方債、社債ノ大部分ノモノニハ減債基金ガ附イテ居リマシテ、其ノ態様ハ色々異ッテ居リマスルガ、毎年々々或程度ノ元金ハ減ル、ソレニ依ッテ高イ利子ノ負擔ト云フモノハ段々減ッテ行ク、斯ウ云フ建前ニナッテ居リマス、戰爭ノ結果減債基金ヲ運行スル途ガナクナリマシタ、ソコデ發行者ト致シマシテモ、只今ノ爲替相場ノ大キナ問題ヲ除キマシテモ、何トカシテ是ハ解決シナケレバイカヌ、ソレナラバ戰爭ガ済ム迄何モシナイデ、總テ敵國人ノ分ハウツチャッテ置イテモ宜イカ

ト申シマスルト、左様ニ致シマシテハ、此ノ戦争ガ終リマシタ時ニドウ云フコトニナリマスカ、非常ニ大キナ負擔ヲ一時ニシナケレバナラスト云フ問題モ起リマセウシ、又其ノ間ノ會社ノ經理ト云フコトニモ非常ナ差障リヲ生ジテ參リマス、是ガ延イテ對外關係ニ於テハ一會社、一地方團體ノ問題デハナイノデアリマシテ、全大戦ノ平和會議ノ經驗カラ見マシテモ、全部ソレ等ノモノハ國ノ責任トシテ、國ト國トノ交渉ニ依ッテ解決スル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレ等ノ點カラ見マシテ、ドウシテモ是ハ發行者ノミノ立場カラモ何トカ機宜ノ措置ヲ執ラナケレバナラス、斯ウ云フコトニナリマシタノガ本案ノ措置ノ一ツノ理由ニナッテ居リマス、ソコデ適正ナル負擔ト云フ問題、是ガ元々此ノ大東亞戦争ニ依ッテ此ノヤウナ措置ガ必要ニ相成ッタノデアリマシテ、戦争ガ起リマセンケレバ先ヅ斯ウ云フ措置ハ……是ハ私ハ戦争ガナクテモ或時期ニ恐ラク斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘナケレバナラス時期ガ來ルノデヤナカラウカト云フコトハ考ヘテ居リマシタガ、其ノ問題ハ大戦ニ依ッテ解決ヲ致シマシテ、大戦勃發ニ依ッテ今回ノヤウナ措置ヲ執ル、斯ウ云フコトニナリマシタノデ、全ク是ハ何ガ適正ナ負擔デアルカト云フコトハ相當困難ナ問題デゴザイマスシ、單ニ之ヲ理論的ニ解決致シマシタノデハ、ソレヲ移シテ參リマスル所有者ノ權利ト申シマスカ……所有者ノ權利ニ及ボス影響或ハ國庫ニ及ボス影響、是ハ又理論ヲ離レテ實際ニ實情ニ合フヤウニ考慮ヲ致サナケレバナリマセヌノデ、マア其ノ三ツノ點ヲ睨ミ合セマシテ適當ナ所ニ決メテ、サウシテ此ノ處理委員會デ決メテ戴

イテ實行致シタイ、斯ウ思ッテ居リマス
○岩田宙造君 ドウモヨク分リマセヌガ、此ノ點ハ私モモウ少シヨク考ヘテカラ質問シタイト思ヒマスカラ、此ノ程度デ……
○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハ定刻ニナリマシタカラ本日ハ是デ散會シテ、明日午前十時カラ開會致シマス
午後四時六分散會
出席者左ノ如シ

委員長 男爵深尾隆太郎君

副委員長 子爵秋元 春朝君

委員

侯爵中山 輔親君

侯爵四條 隆德君

伯爵柳澤 保承君

子爵大岡 忠綱君

子爵舟橋 清賢君

下村 宏君

長谷川 勉夫君

村瀨 直養君

男爵水谷川 忠鷹君

瀧川 儀作君

岩田 宙造君

奥 主一郎君

上野喜左衛門君

田中 都吉君

國務大臣

大藏大臣 賀屋 興宣君

政府委員

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省理財局長 田中 豐君

大藏省外資局長 原口 武夫君

大藏書記官 松田 一隆君

同 森永貞一郎君

同 阪田 泰二君

昭和十八年二月二十五日印刷

昭和十八年二月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局